

**ネットワークカード
SC22 (Ver.1.11)
取扱説明書
(ユーザーズマニュアル)**

1	Web モニタ	1
1-1	モニタ画面の構成	1
	■上部固定メニュー	1
	■メニュー（左フレーム）	2
	■表示・設定エリア（右フレーム）	3
1-2	モニタ画面にログインする	4
2	システム状態	5
2-1	UPS モニタ	5
2-2	UPS 状態	10
2-3	製品情報	11
3	UPS 管理	12
3-1	UPS 設定	12
3-2	UPS 制御	14
3-3	シャットダウン設定	15
3-4	コマンド送信	19
3-5	スクリプトシャットダウン	20
3-6	VA シャットダウン	23
3-7	スケジュール（停止／起動）	24
3-8	スケジュール（バッテリーテスト）	26
3-9	冗長設定	27
3-10	イベント情報一覧	29
3-11	ログ情報	30
	■イベントログ	30
	■データログ	31
	■ログ（保存／削除）	32
	■USB ログ保存の手順	33
4	カード管理	34
4-1	カード設定	34
4-2	アップロード／ダウンロード	35
4-3	マルチユーザ設定	35
4-4	管理者設定	36
4-5	RADIUS 設定	36
4-6	Web 構成	37
4-7	ファームウェア構成	38
5	ネットワーク管理	39
5-1	有線 LAN	39
5-2	無線 LAN	41
	■無線 LAN 設定手順	42
5-3	プロトコル設定（詳細設定）	44
5-4	SNMP 設定	46

5-5	IP フィルタリング設定	46
5-6	Wake On LAN 設定 (詳細設定)	47
5-7	死活監視設定 (詳細設定)	50
5-8	PoE ポート制御設定 (詳細設定)	53
5-9	Syslog 設定 (詳細設定)	55
5-10	エージェント検索 (クライアントコンピュータ情報/エージェント情報)	56
	■クライアントコンピュータ情報 (クライアントコンピュータ一覧)	56
	■エージェント情報 (エージェント一覧)	57
5-11	イベント通知 (E メール)	58
5-12	イベント通知 (SNMP Trap)	60
6	コンソールモード	61
6-1	コンソールでログインする	61
6-2	メインメニュー (Main Menu)	62
6-3	ネットワークカード設定 (Network Card Settings)	63
	■サブメニュー一覧	64
7	参考資料	66
7-1	仕 様	66
7-2	サンプルスクリプト一覧	66
7-3	動作確認済スクリプト	74
7-4	UPS イベント一覧	75
7-5	Modbus イベント一覧	80
7-6	タイムゾーン番号一覧	83
7-7	通知メールのサンプル	85
	■メールの件名	85
	■本 文	86

登録商標について

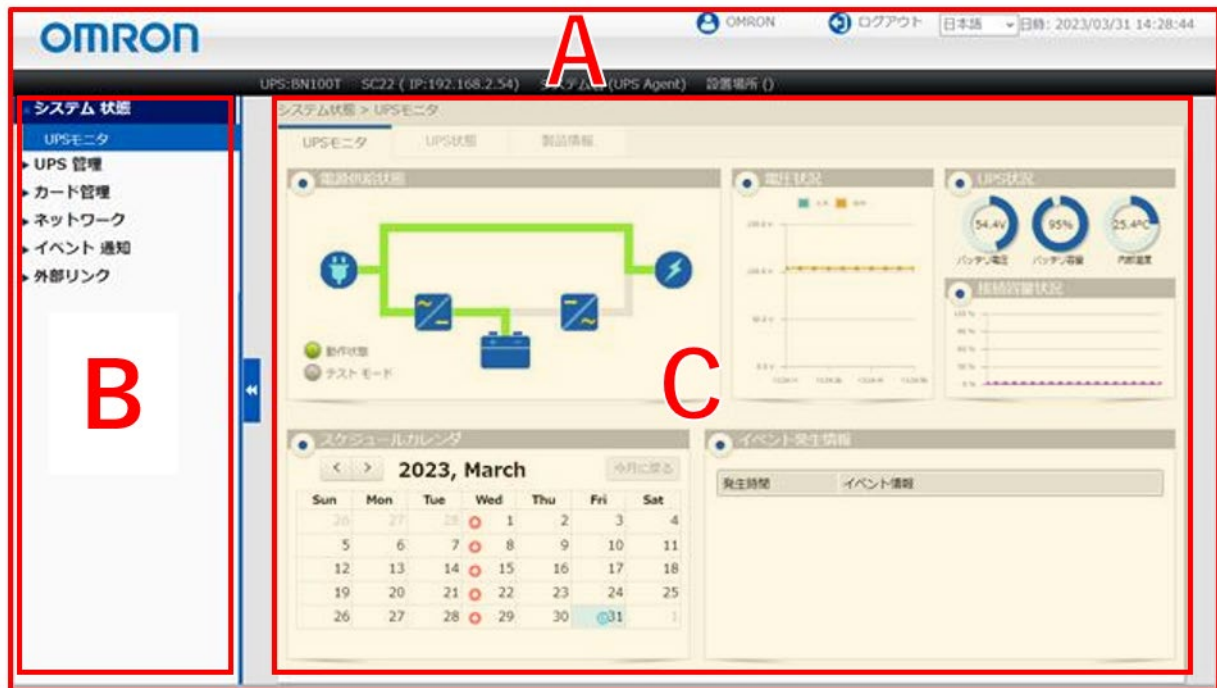
- ・ Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ その他、各会社名、各社製品名は各社の商標または登録商標です。

1 Web モニタ

ネットワークカード SC22（以下、本製品）は、無停電電源装置（以下、UPS）の状態を常時監視します。Web モニタ画面では、UPS の状態確認や各種設定ができます。

1-1 モニタ画面の構成

Web モニタは上部固定メニュー(A)、メニュー(B)、表示・設定エリア(C)に三分割されています。



■ 上部固定メニュー

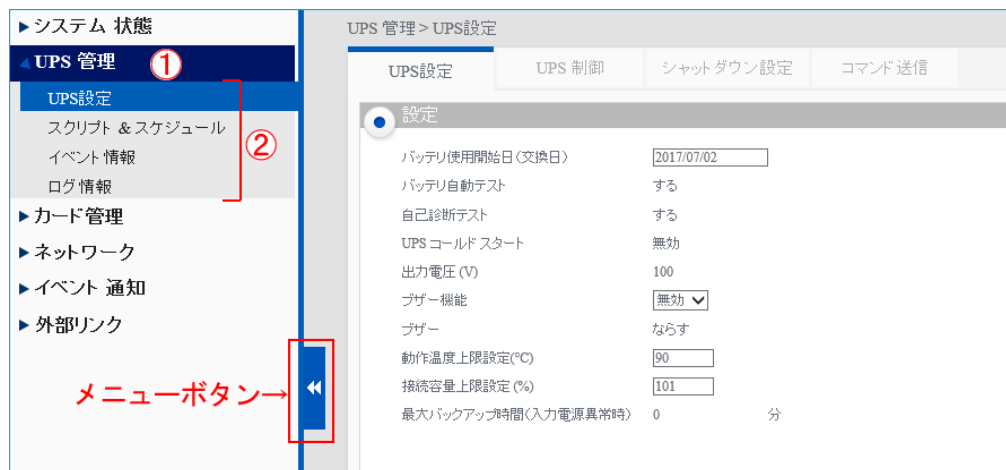


	名 称	説 明
①	ログインユーザ名	ログイン中のユーザ名を表示します。
②	ログイン/ログアウトボタン	本製品にログイン(ログアウト)する時に使用します。ログイン中はログアウト、ログアウト中はログイン表示になります。 ☞ P.4 「1-2 モニタ画面にログインする」
③	言語選択(英語/日本語)	Web 設定画面の表示言語を切り替えます。選択肢:English/日本語
④	日時	本製品の日時を表示します。☞ P.34 「4-1 カード設定」
⑤	UPS 型式	UPS の型式を表示します。
⑥	SC22 (IP アドレス)	本製品の IP アドレスを表示します。☞ P.39 「5-1 有線 LAN」
⑦	システム名	本製品の名称を表示します。☞ P.34 「4-1 カード設定」
⑧	設置場所	本製品の設置場所を表示します。☞ P.34 「4-1 カード設定」

■メニュー（左フレーム）

メニューにはメインメニュー（下図①）とサブメニュー（下図②）があります。メインメニューをクリックすると、下段にサブメニューが、サブメニューをクリックすると、右フレームにその内容が表示されます。サブメニューの概要は下段の表をご確認ください。

メニューはメニューボタンのクリックで非表示にできます。



メインメニュー	サブメニュー	概 要
システム状態	UPS モニタ	UPS の動作状態、製品番号等が確認できます。☞P. 5
UPS 管理	UPS 設定	UPS の設定、制御、シャットダウン設定ができます。☞P. 15
	スクリプト & スケジュール	本製品のクライアントに発行するスクリプトや UPS のスケジュール設定ができます。☞P. 20、P. 24
	冗長設定	本製品のみで 1+1 又は N+1 の冗長電源構成を組めます。☞P. 27
	イベント情報	現在発生しているイベントを確認できます。
	ログ情報	本製品や UPS のログを確認、保存できます。☞P. 30
カード管理	システム構成	本製品の時刻設定や設定値の初期化、設定ファイルのアップロード、ダウンロードができます。☞ P. 34
	認証設定	ログインユーザの管理や RADIUS の設定ができます。☞P. 35
	Web 構成	Web の更新間隔や自動ログアウト時間の設定ができます。
	ファームウェア構成	本製品ファームウェアのアップグレードができます。
ネットワーク	ネットワーク設定	本製品の IP アドレス等の設定ができます。
	プロトコル設定	プロトコルやポートの設定、SNMP の設定ができます。☞P. 44
	Wake On LAN 設定	Wake On LAN の設定ができます。☞P. 47
	死活監視設定	UPS に接続している機器の死活監視設定ができます。☞P. 50
	PoE ポート制御設定	PoE 装置（スイッチ）のポートに接続されている機器の死活監視設定ができます。☞P. 50
	Syslog 設定	Syslog の設定ができます。

メインメニュー	サブメニュー	概 要
	エージェント検索	本製品のクライアント等の確認ができます。
イベント通知	Eメール /SNMP Trap 設定	UPS のイベントを E メールや SNMP Trap で通知する設定ができます。 P. 58、P. 60
外部リンク	オムロン UPS	オムロン UPS のトップページを表示します。
	ご愛用者登録	本製品や UPS のユーザ登録画面を表示します。
	ダウンロード	本製品に関するダウンロードページを表示します。

■表示・設定エリア（右フレーム）

各種設定画面を表示します。表示・設定エリア内の切替は上部のタブで行います。
メニューボタンで左メニューを非表示にすると、表示・設定エリアが拡張されます。

画面はタブで切り替え

メニューボタン

UPS 管理 > UPS 設定	
UPS 設定	UPS 制御
シャットダウン設定	コマンド送信
設定	
バッテリー使用開始日(交換日)	2017/07/02
バッテリー自動テスト	する
自己診断テスト	する
UPS コールドスタート	無効
出力電圧 (V)	100
ブザー機能	無効
ブザー	ならす
動作温度上限設定(°C)	90
接続容量上限設定 (%)	101
最大バックアップ時間(入力電源異常時)	0 分

1-2 モニタ画面にログインする

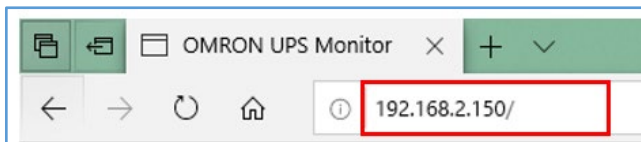
モニタ画面にログインすると、各項目の設定ができます。

参考

ここでは、本製品の IP アドレスの初期値「192.168.2.150」を例に説明します。

本製品の IP アドレスの設定方法は、別紙「SC22 セットアップガイド」をご確認ください。

- ① Web ブラウザを起動し、アドレスバーに本製品の IP アドレスを入力します。



- ② ログインボタンをクリックします。



- ③ ユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。

 A screenshot of the OMRON login page. It features the OMRON logo at the top, followed by input fields for 'ユーザ名' (Username) and 'パスワード' (Password). Below the password field is a 'ログイン' (Login) button highlighted with a red box.

	(初期値)
ユーザ名 (初期値)	OMRON
パスワード (初期値)	admin

※大文字/小文字を区別します。

※ログイン後、パスワードは必ず変更してください。

☞P.36 「4-4 管理者設定」

参考

モニタ画面を開いても、以下のように内容が表示されない場合は、右上の言語選択で「日本語」を選択し、Web ブラウザを更新（再読み込み）してください。



2 システム状態

システム状態では UPS の運転状況や製品情報等が確認できます。

2-1 UPS モニタ

UPS の運転状況やスケジュール等がビジュアルで確認できます。

モニタ画面の「①電源供給状態」「②電圧状況」「③UPS 状況」「④スケジュールカレンダー」「⑤イベント発生情報」の表示内容を説明します。表示箇所は、それぞれ図 1、図 2 の①～⑤に対応しています。

◆図 1：電源供給状態

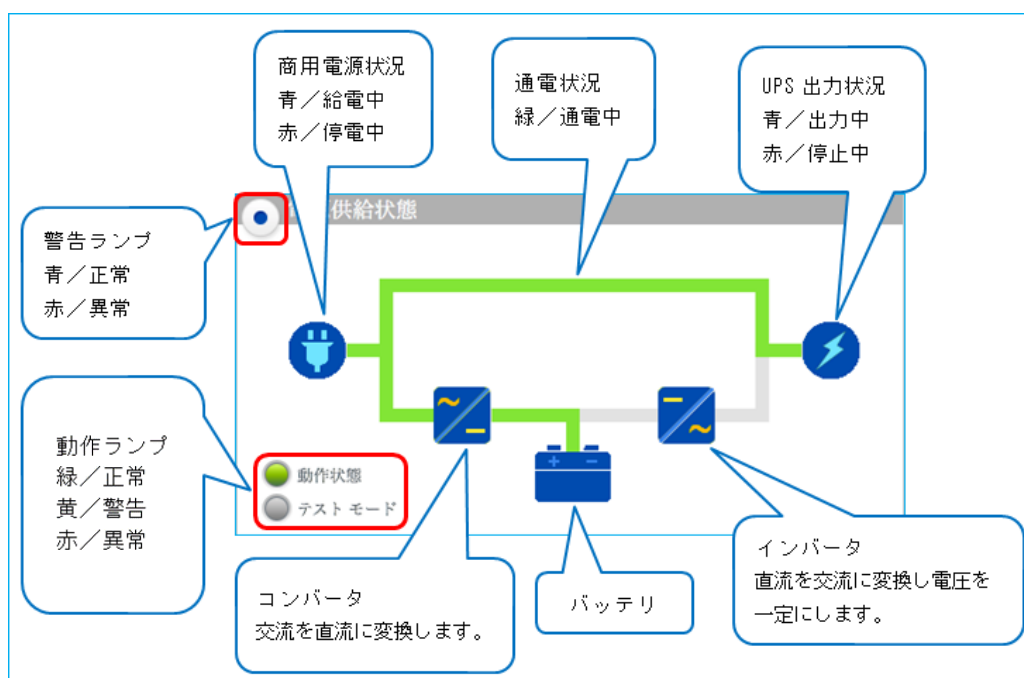


① 電源供給状態

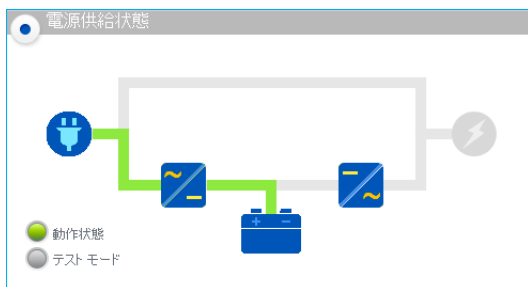
UPS の入力／出力の電源供給状態を図で表示します。

本項目で最も重要なのは左下の「動作ランプ」です。

「動作ランプ」が黄色又は赤色になったら「イベント発生情報」(上図⑤/P.9 ⑤)を確認してください。



スタンバイ状態（UPS 停止中）

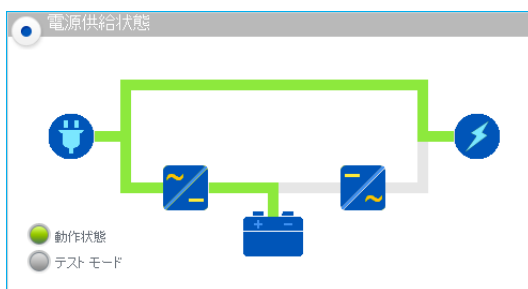


商用電源（入力電源）が ON で UPS が OFF（出力停止中）状態です。

バッテリーに充電をしています。

即時シャットダウンやスケジュール運転でシャットダウンした後もこの状態になります。

商用運転状態（ラインインタラクティブ方式／常時商用運転方式）



商用電源（入力電源）が ON で UPS も ON（商用運転中）状態です。

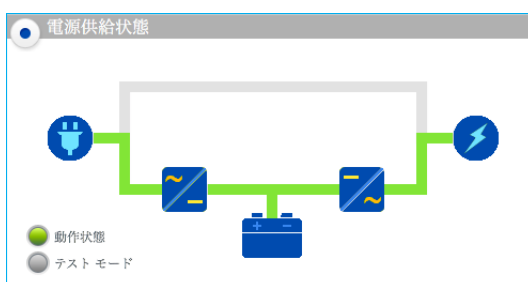
入力電源を出力しています。

バッテリーに充電をしています。

※UPS の給電方式は

[UPS 状態] タブ→「UPS 情報」で確認できます。

商用運転状態（常時インバータ方式）



商用電源（入力電源）が ON で UPS も ON（商用運転中）状態です。

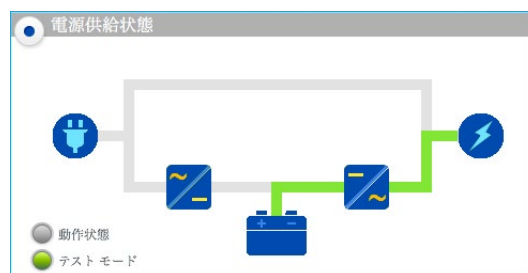
入力電源をインバータ経由で出力しています。

バッテリーに充電をしています。

※UPS の給電方式は

[UPS 状態] タブ→「UPS 情報」で確認できます。

テストモード（バッテリー出力中）

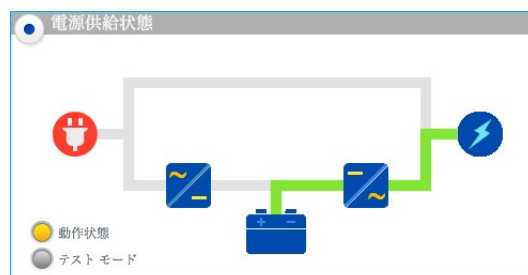


商用電源（入力電源）が ON、UPS も ON で、バッテリーテスト実行中です。

バッテリーから出力しています。

バッテリーテストが終了すると、商用運転に戻ります。

入力電源異常（バックアップ運転中）



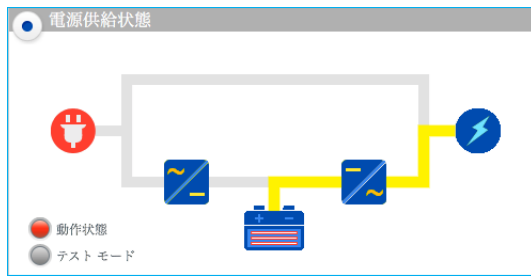
入力電源異常（停電や電圧等の変動）を検出しています。バッテリーから出力しています。

※シャットダウン設定をしている場合

入力電源異常の状態が「待機時間」を超えると、シャットダウンを開始します。

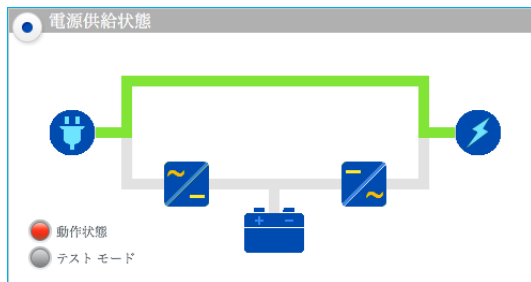
☞P.15 「3-3 シャットダウン設定」

バッテリーロー（バックアップ運転中）



入力電源異常でバックアップ運転中に、バッテリーの残量が少なくなった状態です。
バッテリー残量がなくなると、UPS は停止します。

異常（動作状態ランプが赤／電源出力あり）

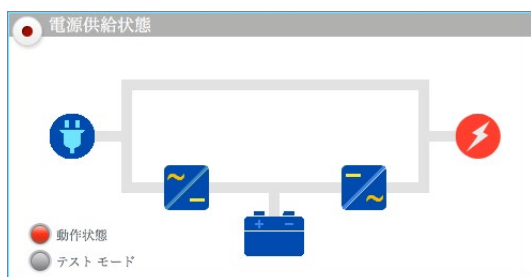


商用運転中に UPS 異常（UPS 故障又は環境要因の異常）で、バイパス運転（商用電源を直送出力）中です。

「イベント発生情報」（☞P.9 ⑤）と UPS の取扱説明書を確認し、UPS の状態を確認してください。

※バイパス運転中に停電になると出力停止します。

異常（動作状態ランプが赤／電源出力なし）



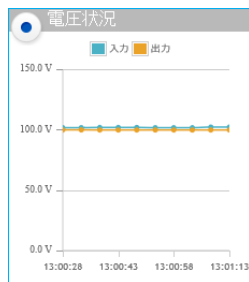
UPS が異常(負荷要因も含む)で停止した状態です。

「イベント発生情報」（☞P.9 ⑤）と UPS の取扱説明書を確認し、UPS の状態を確認してください。

◆図2：電圧状況、UPS 状況、接続容量状況、スケジュールカレンダー、イベント発生情報



② 電圧状況



UPS の入力／出力電圧をリアルタイムにグラフ表示します。
入力電圧と出力電圧が同じ場合、入力電圧の上に出力電圧のグラフが重なります。

③ UPS 状況／接続容量状況

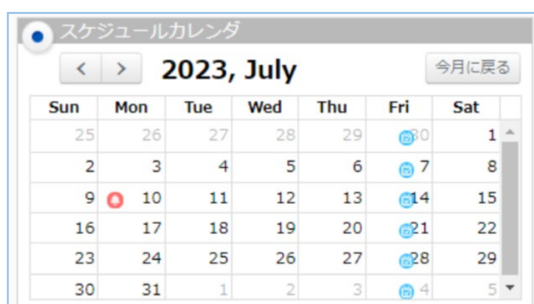


バッテリー電圧／バッテリーの電圧を表示します。
バッテリー容量／バッテリーの充電量を表示します。
内部温度／UPS 内部の温度を表示します。




UPS に接続している機器の消費電力を%表示します。
UPS の出力定格容量を 100%とします。
出力定格容量は、[システム状態] → [UPS 状態] → 「UPS 情報」の「出力容量」で確認できます。

④ スケジュールカレンダー



UPS のスケジュールを月単位で確認できます。

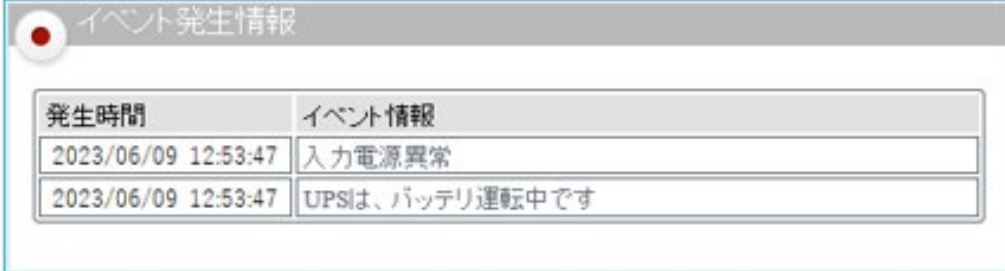
 スケジュール停止／起動

 自己診断テスト

☞P.24 「3-7 スケジュール (停止／起動)」

⑤ イベント発生情報

現在発生しているイベントを表示します。



発生時間	イベント情報
2023/06/09 12:53:47	入力電源異常
2023/06/09 12:53:47	UPSは、バッテリー運転中です

2-2 UPS 状態

UPS やバッテリーの状態、直近のスケジュール等が確認できます。

項 目	概 要	
UPS 情報	UPS 状態	UPS の状態を表示します。 UPS 正常 / UPS 異常 / UPS 設計寿命経過
	型 式	UPS の型式を表示します。
	給電方式	UPS の給電方式を表示します。
	出力容量 (VA)	UPS の出力定格を VA で表示します。
	出力容量 (W)	UPS の出力定格を W で表示します。
入力電源	入力電圧 (V)	商用電源の電圧を表示します。
	入力周波数 (Hz)	商用電源の周波数を表示します。
出力電源	出力コンセント A	コンセントグループ A の出力状況を表示します。
	出力コンセント B	コンセントグループ B の出力状況を表示します。
	出力コンセント C	コンセントグループ C の出力状況を表示します。
	出力電圧 (V)	UPS の出力電圧を表示します。
	出力周波数 (Hz)	UPS の出力周波数を表示します。
	接続容量 (%)	接続機器の消費電力を%表示します。
バッテリー	バッテリー状態	バッテリーの状態を表示します。 バッテリー正常 / 劣化 / 未接続 / 誤接続 / 温度異常
	温 度 (°C)	UPS の内部温度を表示します。
	バッテリー電圧 (V)	バッテリーの電圧を表示します。
	バッテリー容量 (%)	バッテリーのおおよその充電量を表示します。
	推定バックアップ時間 (分)	接続機器の消費電力とバッテリーの充電量から、バックアップ時間 (目安) を表示します。
	増設バッテリーユニット (台)	増設バッテリーユニットの台数を表示します。
	バッテリー使用開始日 (交換日)	バッテリーの使用開始日 (yyyy/mm/dd) を表示します。 [UPS 管理] → [UPS 設定] → 「バッテリー使用開始日」で設定します。
イベント / スケジュール	最新イベント	最後に記録されたイベントを表示します。
	前回のバッテリーテスト日時	前回実施したバッテリーテストの日時を yyyy/mm/dd hh:mm で表示します。
	次回のバッテリーテスト日時	スケジュールした次回バッテリーテストの日時を yyyy/mm/dd hh:mm で表示します。
	次回の UPS 停止日時	スケジュールした次回 UPS 停止日時を yyyy/mm/dd hh:mm で表示します。
	次回の UPS 起動日時	スケジュールした次回 UPS 起動日時を yyyy/mm/dd hh:mm で表示します。

2-3 製品情報

本製品と UPS の情報を確認できます。お問い合わせ時にご確認ください。

ネットワークカード	型式	本製品の型式を表示します。
	ファームウェア	本製品のファームウェアのバージョンを表示します。
	製造番号※1	本製品の製品番号を表示します。
UPS	型式	UPS の型式を表示します
	製造番号※1	UPS の製品番号を表示します。 以下型式の UPS は製品番号を表示できません。 BU75RW/BU100RW/BU200RW/BU300RW BU50SW/BU75SW/BU100SW/BU150SW BU1002SW/BU3002SW

※1 製造番号は、シリアル番号と同じです。

3 UPS 管理

UPS の設定、制御、イベント発生時のシャットダウン設定等ができます。

注意

設定を変更したら必ず [設定] ボタンをクリックしてください。

[設定] ボタンをクリックせずに別の画面を表示すると、設定変更した内容が反映されません。

3-1 UPS 設定

UPS 本体の設定ができます。

設定値は本製品が UPS と通信開始時に、UPS 側の値を読み込みます。

設定項目	選択肢/初期値他	概 要
バッテリー使用開始日(交換日)	yyyy/mm/dd	<p>バッテリー使用開始日の記録です。新規で UPS を設置する場合は、UPS 使用開始日と同日にしてください。</p> <p>※基本的に UPS 内部の設定値を読み込みます。</p> <p>※UPS の値を読み込むのに 1 分程度かかる場合があります。</p>
バッテリー自動テスト ※1	する/しない	<p>4 週間周期のバッテリー自動テストの実行設定です。</p> <p>選択肢を選んで、下段の「設定」ボタンを押すと UPS 本体に設定を書き込みます。</p>
自己診断テスト ※2	する/しない	<p>UPS 起動時の自己診断テスト (10 秒間放電) の実行設定です。</p> <p>選択肢を選んで、下段の「設定」ボタンを押すと UPS 本体に設定を書き込みます。</p> <p>※本設定変更機能を持たない以下の機種では有効になりません。 BU50SW/BU75SW/BU100SW/BU150SW</p>
UPS コールドスタート ※2	有効/無効	<p>AC 電源のない所で UPS を起動させる (接続機器に電源を供給する) 機能です。コールドスタート「有効」設定では、AC 電源に接続しなくても、UPS の「電源」スイッチを ON にすることでバックアップ運転 (バッテリー出力) を開始します。</p> <p>コールドスタートで運転中に UPS を商用電源に接続すると、商用運転に移行します。</p> <p>選択肢を選んで、下段の「設定」ボタンを押すと UPS 本体に設定を書き込みます。</p> <p>※コールドスタートで運転している場合、バッテリー残量がなくなったところで UPS は停止します。</p> <p>※本機能を持たない機種では有効になりません。</p>
入力電圧感度 ※2	標準感度 /低感度 /高感度	<p>ラインインタラクティブ給電方式の設定です。</p> <p>設定により、電圧調整や入力電源異常を検出する閾値が変わります。</p> <p>詳細は UPS の取扱説明書を確認してください。</p>

設定項目	選択肢/初期値他	概要
出力電圧 (V) ※2	選択肢は UPS の仕様により変化	出力電圧を変更します。 対応電圧が選択肢に表示されます。 詳細は UPS の取扱説明書を確認してください。
ブザー機能 (完全停止)	有効/無効	UPS の全ブザーを OFF にできます。 無効にすると以下の全てのブザーが鳴りません。 ・起動時 ・入力電源異常によるバックアップ運転 ・バッテリーロー ・バッテリー交換 (バッテリー劣化) ・異常または故障に関する警報
ブザー ※1	ならず / ならさない	入力電源異常によるバックアップ運転 (及びバッテリーロー) とバッテリー交換 (劣化) 時のブザーを OFF にできます。 UPS 起動時、UPS 故障 (異常) 時のブザーは鳴ります。
動作温度上限設定 (°C)	初期値 90°C	UPS 本体の検知とは別に、本製品側で異常とする温度の設定ができます。UPS の内部温度が本設定値を超えると温度異常のイベントが上がります。 ※UPS 本体が検出する温度異常とは別の設定です。
接続容量上限設定 (%)	初期値 101%	UPS 本体の検知とは別に、本製品側で過負荷とする容量の設定ができます。負荷容量 (接続機器の消費電力の合計) が設定値を超えたら、過負荷のイベントが上がります。 ※UPS 本体が検出する過負荷異常 (オーバーロード) とは別の設定です。
最大バックアップ時間 (入力電源異常時) (分/秒) ※2	初期値 0 分 (0 は無効です)	入力電源異常時に、本項目で設定した時間バックアップ運転をすると、UPS が自動で出力停止する機能です。 ☞ 「注意」をご確認ください。

※1 UPS 本体の設定スイッチで設定する機種では有効になりません。

※2 商用運転中の変更はできません。UPS の「電源」スイッチを OFF にした後、設定してください。

注意

「最大バックアップ時間 (入力電源異常時)」を「シャットダウン設定」(「クライアントシャットダウン」又は「クライアントシャットダウン/UPS 停止」と併用する場合は、必ず、「待機時間」+「UPS 出力停止時間」よりも長い値 (クライアントシャットダウンに足る時間) を設定してください。

「待機時間」+「UPS 出力停止時間」よりも短い値を設定すると、シャットダウン動作が完了する前に UPS が出力停止する可能性があります。

3-2 UPS 制御

UPS の停止／起動やバッテリーテスト実行等の制御ができます。

項 目	概 要
即時シャットダウン	<p>UPS とクライアントを即時にシャットダウンすることができます。</p> <p>ラジオボタンをチェックし、[設定] ボタンをクリックすると、UPS はシャットダウンシーケンス (クライアントシャットダウン+UPS 停止) を開始します。UPS が出力停止するまでの時間は、</p> <p>[シャットダウン設定] → 「UPS 出力停止時間」の設定値です。</p> <p>※即時シャットダウンで停止すると、UPS は停止したままになります。 この状態から UPS を起動させるには、本製品から「UPS 電源オン」を実行するか、UPS 本体の「電源」スイッチを OFF/ON してください。</p> <p>※「3-8 冗長設定」と「即時シャットダウン」の併用はできません。</p>
UPS 電源オン	<p>即時シャットダウン等で UPS を停止した後に、UPS を起動させることができます。ラジオボタンをチェックし、[設定] ボタンをクリックすると、停止している UPS が起動します。</p>
UPS 再起動	<p>UPS の再起動ができます。</p> <p>ラジオボタンをチェックし、[設定] ボタンをクリックすると、UPS はシャットダウンシーケンス (クライアントシャットダウン+UPS 停止) を実行します。UPS は停止した後、「UPS 再起動遅延時間」で設定した時間経過後、再起動します。UPS が出力停止するまでの時間は、</p> <p>[シャットダウン設定] → 「UPS 出力停止時間」の設定値です。</p>
UPS 再起動遅延時間 (分)	<p>「UPS 再起動」実行時に、UPS を停止させておく時間の設定です。</p> <p>1分に設定すると、UPS は1分間停止した後、再起動します。</p> <p>※「0」を設定しないでください。「0」では、再起動が実行できません。</p>
出力コンセント A/B/C	<p>各コンセントより「出力停止」または「出力開始」を選択し、[設定] ボタンをクリックすると、各コンセントからの電源供給を停止／開始できます。</p> <p>「出力停止」を設定した場合、UPS が再起動しても出力コンセントは出力停止したままです。出力を再開する場合は、「出力開始」を選択し、[設定] ボタンをクリックしてください。</p> <p>※本機能を持たない機種では有効になりません。</p>
ブザーテスト	<p>ブザーの鳴動テストをすることができます。</p> <p>ラジオボタンをチェックし、[設定] ボタンをクリックすると、UPS のブザーが1回鳴動します。</p>
バッテリーテスト	<p>「自己診断テスト」／「バッテリー自動テスト」を選択、実行することができます。[設定] ボタンをクリックすると、選択したテストが実行されます。</p> <p>※選択肢は UPS の機種により異なります。</p> <p>※充電不足等、条件が揃わない場合は、実行できません。</p>
前回のテスト開始日時	<p>前回のバッテリーテスト開始時間を「yyyy/mm/dd hh:mm」で表示します。</p>
前回のテスト結果	<p>前回のバッテリーテストの結果を表示します。</p> <p>合格/UPS 故障/テスト中/バッテリー劣化/バッテリー未接続</p>

3-3 シャットダウン設定

UPS のシャットダウン動作に関する設定ができます。

UPS 管理 > UPS設定

UPS設定 UPS制御 シャットダウン設定 コマンド送信

シャットダウン設定

① イベント

② シャットダウン動作

③ 待機時間(秒)

④ 初回警告(秒) 警告間隔(秒)

⑤ 設定 ←設定を変更したら必ずクリック

シャットダウン動作	待機時間(秒)	初回警告(秒)	警告間隔(秒)
クライアント シャットダウン	60	30	30
クライアント シャットダウン	60	30	30
無効	0	30	30
無効	180	30	30
クライアントシャットダウン/UPS停止	600	0	60
クライアントシャットダウン/UPS停止	600	0	60

UPS出力停止時間	出力コネクセントA (秒)	180
	出力コネクセントB (秒)	180
	出力コネクセントC (秒)	180
入力電源復電時のUPS再起動		しない
入力電源復電時のUPS再起動条件設定	バッテリー容量 (%)	0
	UPS 起動遅延時間(秒)	1
UPS 出力開始遅延時間	出力コネクセントA (秒)	0
	出力コネクセントB (秒)	0
	出力コネクセントC (秒)	0

① イベント

シャットダウンイベントは以下の6つです。

項目	概要
入力電源異常	停電、入力電圧や周波数の変動でUPSがバックアップ運転している状態
バッテリーロー	バッテリーの残量が少なくなった状態
接続容量オーバ	接続機器の消費電力が本製品で設定した閾値を超えた状態 ☞P.13「接続容量上限設定」
温度設定オーバ	UPS内部温度が本製品で設定した閾値を超えた状態 ☞P.13「動作温度上限設定」
スケジュール(毎週)	毎週設定したスケジュール運転 ☞P.24「3-7 スケジュール(停止/起動)」
スケジュール(指定日)	指定日設定したスケジュール運転 ☞P.24「3-7 スケジュール(停止/起動)」

② シャットダウン動作

各シャットダウンイベントに対して以下の動作が選択できます。

項 目	概 要
無効	イベントを無視します。
警告	イベント発生時にクライアントコンピュータに警告します。 シャットダウンはしません。
クライアントシャット ダウン	イベント発生時、クライアントコンピュータに警告し、シャットダウン命 令を出します。UPS は停止しません。
クライアントシャット ダウン/UPS 停止	イベント発生時、クライアントコンピュータに警告し、シャットダウン命 令を出し、UPS を停止させます。

参考

クライアントコンピュータとは、本製品のクライアントソフト PowerAct Pro Slave Agent をインストールしたコンピュータです。☞P.56 「クライアントコンピュータ情報」

③ 待機時間

待機時間にはイベントの性格により、2つの異なる意味があります。

イベント	概 要
入力電源異常	イベント発生からシャットダウン動作（クライアントシャットダウン又は クライアントシャットダウン/UPS 停止）を開始するまでの時間設定です。 待機時間内にイベントが解消すれば、シャットダウンは開始されません。 （設定値：0～36000 秒）
バッテリーロー	
接続容量オーバ	
温度設定オーバ	
スケジュール(毎週)	スケジュールシャットダウン開始前にクライアントに警告する時間の設定 です。600 秒の場合は、スケジュールシャットダウン開始時刻の 600 秒前 からクライアントに警告を開始します。
スケジュール(指定日)	（設定値：0～36000 秒前／初期値：600 秒前） ☞P. 24 「3-7 スケジュール（停止／起動）」

参考

スケジュール（停止/起動）のシーケンスには【待機時間】も含まれます。

直近のスケジュールを設定する場合は、【待機時間】開始時よりも前に設定を完了してください。

【待機時間】に入ってから設定した場合、そのスケジュールは実行されません。

例) 待機時間 600 秒、18:00 停止の場合、スケジュール開始時間は 17:50（警告開始時間）です。

17:55 に設定完了→スケジュール開始時間を過ぎていますので、スケジュールの実行はできません。

17:45 に設定完了→スケジュール開始時間前ですので、スケジュールを実行します。

④ 初回警告／警告間隔

イベント発生から初回警告をするまでの時間と、繰り返し警告する間隔の設定です。

⑤ UPS 動作部

項 目	概 要
UPS 出力停止時間 出力コンセント A/B/C (秒)	<p>待機時間経過時から、UPS が停止するまでの時間を設定できます。</p> <p>出力コンセント制御機能のある UPS は、コンセント毎に停止時間の設定ができます。出力コンセント制御の無い UPS はコンセント A のみ有効になります。（設定値：0～1800 秒/60 秒刻み）</p> <p>※出力コンセント制御機能と UPS 動作の詳細は UPS の取扱説明書をご確認ください。</p>
入力電源復電時の UPS 再起動 する／しない	<p>入力電源異常で UPS がシャットダウン停止した後、復電した際の UPS 再起動設定ができます。</p> <p>本製品が UPS と通信を開始した際に、UPS 側の設定を読み込みます。</p> <p>「しない」を選択すると、復電しても UPS は停止したままです。この場合、UPS 本体の「電源」スイッチを OFF/ON すると起動します。</p> <p>※UPS 本体の設定スイッチで設定する機種では有効になりません。</p>
バッテリー容量(%)	<p>UPS の起動条件に、バッテリー充電量を追加できます。</p> <p>バッテリーの充電量が設定した容量以上にならないと、UPS は起動しません。（設定値：0～100%）</p> <p>※本製品が UPS と通信を開始した時に、UPS 側の設定を読み込みます。</p> <p>※UPS 側の初期値は 0%です。</p> <p>※本機能を持たない機種では有効になりません。</p>
UPS 起動遅延時間 (秒)	<p>復電してから UPS が起動を開始するまでの遅延時間を設定できます。</p> <p>（設定値：0～999 秒）</p> <p>※本製品が UPS と通信を開始した時に、UPS 側の設定を読み込みます。</p>
UPS 出力開始遅延時間 出力コンセント A/B/C (秒)	<p>コンセントグループ毎に、電源出力の開始時間に遅延をかけられます。</p> <p>接続機器への電源供給開始に時間差を設けたい場合に使用します。</p> <p>（設定値：0～1800 秒/60 秒刻み）</p> <p>※本機能を持たない機種では有効になりません。</p>

⑥ 初期値一覧

イベント	シャットダウン動作
入力電源異常	クライアントシャットダウン
バッテリーロー	クライアントシャットダウン
接続容量オーバ	無効
温度設定オーバ	無効
スケジュール(毎週)	クライアントシャットダウン/UPS 停止
スケジュール(指定日)	クライアントシャットダウン/UPS 停止

イベント	待機時間(秒)	初回警告(秒)	警告間隔(秒)
入力電源異常	60	30	30
バッテリーロー	60	30	30
接続容量オーバ	0	30	30
温度設定オーバ	180	30	30
スケジュール(毎週)	600	0	60
スケジュール(指定日)	600	0	60

項 目	初期値
UPS 出力停止時間 (出力コンセント A/B/C)	180
入力電源復電時の UPS 再起動条件設定	無効
UPS 出力開始遅延時間 (出力コンセント A/B/C)	0

3-4 コマンド送信

UPS の制御コマンドを送信できます。

「コマンド入力」欄にコマンドを入力、[設定] ボタンをクリックすると、「コマンド応答」欄に UPS の応答内容が表示されます。



The screenshot displays the 'UPS 管理 > UPS設定' (UPS Management > UPS Settings) page. The 'コマンド送信' (Command Send) tab is selected. The interface includes a 'コマンド入力' (Command Input) text box, a 'コマンド応答' (Command Response) area, and a '設定' (Settings) button. Red boxes highlight the input field and the settings button.

3-5 スクリプトシャットダウン

登録したスクリプトをシャットダウン時、復電時、UPS 起動時に実行することができます。

UPS 管理>スクリプトとスケジュール

スクリプト シャットダウン | スケジュール(停止/起動) | スケジュール(バッテリーテスト)

● スクリプト シャットダウン

テスト <input type="checkbox"/>	No.	IPアドレス/ホスト名	出力コンセント選択	プロトコル	条件	ログインID 1	パスワード 1	ログインID 2	パスワード 2	再
<input checked="" type="checkbox"/>	1		出力コンセントA	無効	シャットダウン					
<input checked="" type="checkbox"/>	2		出力コンセントA	無効	シャットダウン					
<input type="checkbox"/>	3		出力コンセントA	無効	シャットダウン					
<input type="checkbox"/>	4		出力コンセントA	無効	シャットダウン					
<input type="checkbox"/>	5		出力コンセントA	無効	シャットダウン					
<input type="checkbox"/>	6		出力コンセントA	無効	シャットダウン					
<input type="checkbox"/>	7		出力コンセントA	無効	シャットダウン					
<input type="checkbox"/>	8		出力コンセントA	無効	シャットダウン					
<input type="checkbox"/>	9		出力コンセントA	無効	シャットダウン					
<input type="checkbox"/>	10		出力コンセントA	無効	シャットダウン					
<input type="checkbox"/>	11		出力コンセントA	無効	シャットダウン					
<input type="checkbox"/>	12		出力コンセントA	無効	シャットダウン					
<input type="checkbox"/>	13		出力コンセントA	無効	シャットダウン					
<input type="checkbox"/>	14		出力コンセントA	無効	シャットダウン					

設定 | テスト | 停止

No.	項目	概要
①	テスト	<p>スクリプトのテスト時にチェックします。</p> <p><テスト方法> チェックボックスにチェックを入れ、下段の[テスト]ボタンをクリックすると登録したスクリプトが実行されます。</p> <p>注意 設定変更した内容をテストで確認する場合、[設定] ボタンをクリックしてから [テスト] ボタンをクリックしてください。</p>
②	IP アドレス/ホスト名	スクリプトシャットダウン対象機器の IP アドレス/ホスト名を入力します。
③	出力コンセント選択	<p>スクリプトシャットダウン対象機器が電源を取っている出力コンセントを選択します。</p> <p>(出力コンセント制御機能をもった UPS のみ)</p>
④	プロトコル	<p>スクリプトの通信方式を設定します。</p> <p>選択肢：無効 / Telnet / SSH</p> <p>「無効」を選択するとスクリプトを実行しません。</p>

No.	項 目	概 要								
⑤	条 件	<p>スクリプトの実行条件を選択します。</p> <table border="1"> <tr> <td>シャットダウン</td> <td>本製品がトリガーのシャットダウン時に実行します。</td> </tr> <tr> <td>VA シャットダウン</td> <td>VA (VirtuAttendant) によるシャットダウン時に実行します。 ☞P.23 「3-6 VA シャットダウン」</td> </tr> <tr> <td>入力電源復電</td> <td>入力電源異常で UPS がシャットダウンした後、「復電」+「UPS 起動」(「電源」スイッチでの手動起動も含む) の条件が揃うと実行します。</td> </tr> <tr> <td>出力開始</td> <td>商用運転中に停止させた UPS が起動する時に実行します。出力コンセント制御機能のある UPS は、有効な全コンセントの出力が開始された時に実行します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ UPS 本体の「電源」スイッチ ON ・ [UPS 制御] の「UPS 電源 ON」 ・ [UPS 制御] の「UPS 再起動」 ・ スケジュールによる起動 ・ 死活監視による UPS の起動(UPS 停止/起動) </td> </tr> </table>	シャットダウン	本製品がトリガーのシャットダウン時に実行します。	VA シャットダウン	VA (VirtuAttendant) によるシャットダウン時に実行します。 ☞P.23 「3-6 VA シャットダウン」	入力電源復電	入力電源異常で UPS がシャットダウンした後、「復電」+「UPS 起動」(「電源」スイッチでの手動起動も含む) の条件が揃うと実行します。	出力開始	商用運転中に停止させた UPS が起動する時に実行します。出力コンセント制御機能のある UPS は、有効な全コンセントの出力が開始された時に実行します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ UPS 本体の「電源」スイッチ ON ・ [UPS 制御] の「UPS 電源 ON」 ・ [UPS 制御] の「UPS 再起動」 ・ スケジュールによる起動 ・ 死活監視による UPS の起動(UPS 停止/起動)
シャットダウン	本製品がトリガーのシャットダウン時に実行します。									
VA シャットダウン	VA (VirtuAttendant) によるシャットダウン時に実行します。 ☞P.23 「3-6 VA シャットダウン」									
入力電源復電	入力電源異常で UPS がシャットダウンした後、「復電」+「UPS 起動」(「電源」スイッチでの手動起動も含む) の条件が揃うと実行します。									
出力開始	商用運転中に停止させた UPS が起動する時に実行します。出力コンセント制御機能のある UPS は、有効な全コンセントの出力が開始された時に実行します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ UPS 本体の「電源」スイッチ ON ・ [UPS 制御] の「UPS 電源 ON」 ・ [UPS 制御] の「UPS 再起動」 ・ スケジュールによる起動 ・ 死活監視による UPS の起動(UPS 停止/起動) 									
⑥	ログイン ID1	スクリプト対象機器のログイン ID (一般) を設定します。スクリプトに \$u1 と記述すれば、スクリプト実行時に本項目に入力した値に置き換わります。								
⑦	パスワード 1	スクリプト対象機器のログインパスワード (一般) を設定します。スクリプトに \$p1 と記述すれば、スクリプト実行時に本項目に入力した値に置き換わります。								
⑧	ログイン ID2	<p>スクリプト対象機器のログイン ID (管理者) を設定します。スクリプトに \$u2 と記述すれば、スクリプト実行時に本項目に入力した値に置き換わります。</p> <p>※Linux/Mac/Unix で必要であれば入力、Windows では不要です。 ※ログイン ID2 は「su」を付けて送ります。 「su」でログインする場合は、何も入力しないでください。</p>								
⑨	パスワード 2	<p>スクリプト対象機器のログインパスワード (管理者) を設定します。スクリプトに \$p2 と記述すれば、スクリプト実行時に本項目に入力した値に置き換わります。</p> <p>※Linux/Mac/Unix で必要であれば入力、Windows では不要です。</p>								

注意

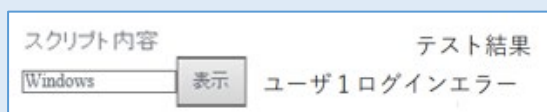
ログイン ID2 は「su」を付けて送ります。「su」でログインする場合は、何も入力しないでください。

テスト No.	再接続回数	コマンドタイムアウト (秒)	スクリプト待機時間 (秒)	スクリプトNo.	スクリプト内容	テスト結果
1	5	10	0	スクリプト1	Windows	表示
2	5	10	0	スクリプト1	Windows	表示
3	5	10	0	スクリプト1	Windows	表示
4	5	10	0	スクリプト1	Windows	表示
5	5	10	0	スクリプト1	Windows	表示
6	5	10	0	スクリプト1	Windows	表示
7	5	10	0	スクリプト1	Windows	表示
8	5	10	0	スクリプト1	Windows	表示
9	5	10	0	スクリプト1	Windows	表示
10	5	10	0	スクリプト1	Windows	表示
11	5	10	0	スクリプト1	Windows	表示
12	5	10	0	スクリプト1	Windows	表示
13	5	10	0	スクリプト1	Windows	表示
14	5	10	0	スクリプト1	Windows	表示
15	5	10	0	スクリプト1	Windows	表示
16	5	10	0	スクリプト1	Windows	表示
17	5	10	0	スクリプト1	Windows	表示
18	5	10	0	スクリプト1	Windows	表示
19	5	10	0	スクリプト1	Windows	表示

No.	項目	概要
⑩	再接続回数	スクリプトのリトライ回数を設定します。 初期値:5
⑪	コマンドタイムアウト (秒)	スクリプトのタイムアウト時間を設定します。 初期値:10
⑫	スクリプト待機時間 (秒)	スクリプトの開始に遅延をかけたい場合に設定します。 初期値:0
⑬	スクリプト No.	スクリプトの番号を選択します。 スクリプトは32パターン登録できます。
⑭	スクリプト内容	[表示] ボタンをクリックするとスクリプトの内容を表示します。 このウインドウでもスクリプトの編集が可能です。 32パターンのスクリプトを登録でき、No. 1~19にはサンプルスクリプトを登録しています。スクリプトの上限は1023byteです。
⑮	テスト結果	スクリプトシャットダウンテストの結果を表示します。 テスト実行後、結果が出るまで1分程度かかります。

参考

- ・テスト結果が NG の場合、ハイパーリンクからテスト結果の詳細を確認することができます。
(例) テスト結果の「ユーザ1ログインエラー」をクリックします。



- ・[停止] ボタンをクリックすると実行中のスクリプトシャットダウンテストを停止します。

3-6 VA シャットダウン

自動シャットダウンソフト VirtuAttendant (以下 VA という) と連携して UPS をシャットダウンします。

UPS 管理 > スクリプトとスケジュール

スクリプト シャットダウン **VA シャットダウン** スケジュール(停止/起動) スケジュール(バッテリーテスト)

VA シャットダウン

① VA シャットダウン 無効 ▼

② UPS動作 継続運転 ▼

設定

No.	項目	概要						
①	VA シャットダウン	VA に連携する設定をします。 「有効」にすると VA のシャットダウンリクエストで UPS を停止します。「有効」にすると死活監視設定は無効になります。 ※VA を併用しない場合は、「無効」にしてください。						
②	UPS 動作	項目①を「有効」にした場合の UPS の動作を選択します。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>UPS 停止</td> <td>[シャットダウン設定]の「UPS 出力停止時間」で設定した値で UPS を停止します。</td> </tr> <tr> <td>UPS 停止/起動</td> <td>[シャットダウン設定]の「UPS 出力停止時間」で設定した値で UPS を停止します。 UPS が停止したら、1 分後に再起動します。</td> </tr> <tr> <td>継続運転</td> <td>UPS は停止しません。</td> </tr> </tbody> </table>	UPS 停止	[シャットダウン設定]の「UPS 出力停止時間」で設定した値で UPS を停止します。	UPS 停止/起動	[シャットダウン設定]の「UPS 出力停止時間」で設定した値で UPS を停止します。 UPS が停止したら、1 分後に再起動します。	継続運転	UPS は停止しません。
UPS 停止	[シャットダウン設定]の「UPS 出力停止時間」で設定した値で UPS を停止します。							
UPS 停止/起動	[シャットダウン設定]の「UPS 出力停止時間」で設定した値で UPS を停止します。 UPS が停止したら、1 分後に再起動します。							
継続運転	UPS は停止しません。							

注意

- ・本設定を有効にすると、死活監視設定が無効になります。
- ・UPS 動作で「UPS 停止/起動」を選択した場合、UPS 制御の UPS 再起動遅延時間 (分) を「0」以外の値にする必要があります。「0」の場合は、UPS が停止しません。

3-7 スケジュール（停止／起動）

UPS 停止／起動のスケジュール設定ができます。登録は 16 件までです。

UPS 管理 > スクリプトとスケジュール

スクリプト シャットダウン **スケジュール(停止／起動)** スケジュール(バッテリーテスト)

● スケジュール(停止／起動)

No.	スケジュール動作	停止日	停止時刻(時:分)	起動日	起動時刻(時:分)
1	無効	日曜日	00:00	日曜日	00:00
2	無効	日曜日	00:00	日曜日	00:00
3	無効	日曜日	00:00	日曜日	00:00
4	無効	日曜日	00:00	日曜日	00:00
5	無効	日曜日	00:00	日曜日	00:00
6	無効	日曜日	00:00	日曜日	00:00
7	無効	日曜日	00:00	日曜日	00:00
8	無効	日曜日	00:00	日曜日	00:00
9	無効	日曜日	00:00	日曜日	00:00
10	無効	日曜日	00:00	日曜日	00:00
11	無効	日曜日	00:00	日曜日	00:00
12	無効	日曜日	00:00	日曜日	00:00
13	無効	日曜日	00:00	日曜日	00:00
14	無効	日曜日	00:00	日曜日	00:00
15	無効	日曜日	00:00	日曜日	00:00
16	無効	日曜日	00:00	日曜日	00:00

設定

項目	概要										
スケジュール動作	<p>スケジュールを毎週と指定日から選択します。</p> <table border="1"> <tr> <td>無効</td> <td>スケジュールを無効にする</td> </tr> <tr> <td>スケジュール（毎週）</td> <td>曜日指定で UPS の停止／起動 (クライアントのシャットダウンを含む)</td> </tr> <tr> <td>スケジュール（指定日）</td> <td>年月日指定で UPS の停止／起動 (クライアントのシャットダウンを含む)</td> </tr> <tr> <td>スケジュール（毎週）停止</td> <td>曜日指定で UPS を停止 (クライアントのシャットダウンを含む)</td> </tr> <tr> <td>スケジュール（指定日）停止</td> <td>年月日指定で UPS を停止 (クライアントのシャットダウンを含む)</td> </tr> </table>	無効	スケジュールを無効にする	スケジュール（毎週）	曜日指定で UPS の停止／起動 (クライアントのシャットダウンを含む)	スケジュール（指定日）	年月日指定で UPS の停止／起動 (クライアントのシャットダウンを含む)	スケジュール（毎週）停止	曜日指定で UPS を停止 (クライアントのシャットダウンを含む)	スケジュール（指定日）停止	年月日指定で UPS を停止 (クライアントのシャットダウンを含む)
無効	スケジュールを無効にする										
スケジュール（毎週）	曜日指定で UPS の停止／起動 (クライアントのシャットダウンを含む)										
スケジュール（指定日）	年月日指定で UPS の停止／起動 (クライアントのシャットダウンを含む)										
スケジュール（毎週）停止	曜日指定で UPS を停止 (クライアントのシャットダウンを含む)										
スケジュール（指定日）停止	年月日指定で UPS を停止 (クライアントのシャットダウンを含む)										
停止日	<p>スケジュール停止日を曜日または年月日で選択します。</p> <table border="1"> <tr> <td>毎週</td> <td>各曜日（日、月、火、水、木、金、土）と月曜日～金曜日の範囲指定があります。</td> </tr> <tr> <td>指定日</td> <td>年月日（yyyy/mm/dd）で設定します。</td> </tr> </table>	毎週	各曜日（日、月、火、水、木、金、土）と月曜日～金曜日の範囲指定があります。	指定日	年月日（yyyy/mm/dd）で設定します。						
毎週	各曜日（日、月、火、水、木、金、土）と月曜日～金曜日の範囲指定があります。										
指定日	年月日（yyyy/mm/dd）で設定します。										

項目	概要				
停止時刻(時: 分)	<p>シャットダウンシーケンスの開始時間を hh:mm で設定します。</p> <p>停止時刻から [シャットダウン設定] の「UPS 出力停止時間」経過後に UPS は停止します。☞P.15 「3-3 シャットダウン設定」</p> <p>例) 停止時刻 20:00/UPS 出力停止時間 180 秒の場合</p> <p>20:00 クライアントシャットダウン開始</p> <p>20:03 UPS 停止</p>				
起動日 ※1	<p>UPS の起動日を設定します。</p> <table border="1"> <tr> <td>毎週</td> <td>各曜日（日、月、火、水、木、金、土）と月曜日～金曜日、火曜日～土曜日の範囲指定があります。</td> </tr> <tr> <td>指定日</td> <td>年月日（yyyy/mm/dd）で設定します。</td> </tr> </table>	毎週	各曜日（日、月、火、水、木、金、土）と月曜日～金曜日、火曜日～土曜日の範囲指定があります。	指定日	年月日（yyyy/mm/dd）で設定します。
毎週	各曜日（日、月、火、水、木、金、土）と月曜日～金曜日、火曜日～土曜日の範囲指定があります。				
指定日	年月日（yyyy/mm/dd）で設定します。				
起動時刻(時: 分) ※1	<p>UPS 起動開始時間を hh:mm で設定します。</p> <p>UPS 起動開始時間は、UPS が出力停止した時間から 1 分以上余裕をもって設定してください。</p>				

※1 スケジュール動作で「スケジュール停止」を選択した場合は、無効になります。

参考

- ・スケジュールのシャットダウン動作は [シャットダウン設定] で規定した動作になります。
[UPS 管理] → [シャットダウン設定] ☞P.15 「3-3 シャットダウン設定」
- ・「スケジュール動作」の「毎週」と「指定日」に優先順位はありません。「毎週」設定しているところに「指定日」を追加する場合は、その日の「毎週」を「無効」にしてください。

注意

- ・スケジュール（停止/起動）のシーケンスには [待機時間] も含まれます。
直近のスケジュールを設定する場合は、[待機時間] よりも前に、設定を完了してください。
待機時間に入ってから設定した場合、そのスケジュールは実行されません。
例) 待機時間 600 秒、18:00 停止の場合
スケジュール開始時間は 17:50（警告開始時間）です。
17:55 に設定完了→スケジュール開始時間を過ぎているため、スケジュールの実行はできません。
17:45 に設定完了→スケジュール開始時間前ですので、スケジュールを実行します。
- ・「指定日」を 2 件以上設定する場合、日付時刻順に設定してください。
日付時刻が逆転すると 2 件目以降のスケジュール（停止/起動）が動作しません。
例) 「指定日」を No.1～No.3 に 3 件設定する場合
No.1 : 2022/12/31
No.2 : 2023/01/05
No.3 : 2023/02/28

3-8 スケジュール (バッテリーテスト)

バッテリー自動テスト又は自己診断テストのスケジュール設定ができます。登録は 14 件までです。

項 目	概 要
テスト日	バッテリーテスト実行日を「曜日」又は「指定日」から選択します。 曜日指定の場合は、毎週実行されます。 選択肢：無効／日曜日～土曜日／指定日
日 付	「テスト日」で「指定日」を選択した場合に有効になります。 実行日を yyyy/mm/dd で設定します。
テスト時刻	バッテリーテスト実行時間を hh:mm で設定します。
テスト動作	「自己診断テスト」、「バッテリー自動テスト」から選択します。 選択肢は UPS の仕様により変わります。

注意

「バッテリー自動テスト」は負荷容量により、一定時間の放電をします。
この為、頻繁にスケジュール設定するとバッテリー寿命に影響しますので、ご注意ください。

3-9 冗長設定

本製品のみで 1+1 又は N+1 の冗長電源構成を組めます。シャットダウン対象のコンピュータは、本製品がスクリプトでシャットダウンしますので、自動シャットダウンソフトをインストールする必要はありません。

参考

UPS の冗長電源構成（冗長構成）とは…

冗長電源（複数の電源ユニット）を搭載したコンピュータを、複数の UPS でバックアップし、停電や電圧変動等の入力電源異常時にもコンピュータの可用性を高める構成です。

複数の入力電源異常が重なる等シャットダウン条件を満たすと、対象のコンピュータをシャットダウンします。コンピュータの電源ユニットの台数分、UPS が必要になります。

例 1) 1+1 構成（2 台の UPS で冗長電源構成）の場合

1 系統（片側）の電源で入力電源異常があっても、シャットダウンはしません。

2 系統（両方）の電源で入力電源異常があった場合、シャットダウンします。

例 2) N+1 構成（3～8 台の UPS で冗長電源構成）の場合

1 系統（片側）の入力電源異常で停電があっても、シャットダウンはしません。

2 系統（2 つ）以上の電源で入力電源異常があった場合、シャットダウンします。

注意

- ・自動シャットダウンソフト（VirtuAttendant、PowerAct Pro Slave Agent）を使用する場合は、本製品の冗長設定はしないでください。
 - ・本製品で冗長電源構成を組む場合、UPS は同じ型式のものをご利用ください。
 - ・本製品で冗長電源構成を組む場合、同一ネットワーク上で接続する UPS は 128 台を超えないようにしてください。
 - ・冗長設定でスケジュール運転を行う場合は、スケジュール運転（停止）にて 1 台目の UPS が停止して 2 分程度経過した後に、次の UPS のスケジュール運転（停止）が実行できるように設定してください。
 - ・コンピュータをシャットダウンするには、別途スクリプトシャットダウンの設定が必要です。
- ☞P.20「3-5 スクリプトシャットダウン」



項 目	概 要				
冗長状態	設定状態、本製品同士の通信状況で以下 3 通りの表示になります。 <ul style="list-style-type: none"> ・スタンバイ中／未設定 ・準備中／冗長を構成中 ・監視中／冗長構成で監視中 				
冗長グループ名	Group1～8 で冗長電源構成を組みます。 同一ネットワーク内に最大 8 組の冗長電源構成を組めます。				
冗長構成	UPS の台数（電源ユニット数）で設定します。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1+1</td> <td>2 台の UPS で冗長電源構成を組む場合に選択します。 ＜シャットダウン条件＞ 1 台目が入力電源異常（又は停止状態）時に 2 台目が入力電源異常になったらシャットダウンを開始します。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">N+1</td> <td>3 台～8 台の UPS で冗長電源構成を組む場合に選択します。 ＜シャットダウン条件＞ 入力電源異常等で商用運転をしている UPS が N 台を切ったら、シャットダウンを開始します。</td> </tr> </tbody> </table>	1+1	2 台の UPS で冗長電源構成を組む場合に選択します。 ＜シャットダウン条件＞ 1 台目が入力電源異常（又は停止状態）時に 2 台目が入力電源異常になったらシャットダウンを開始します。	N+1	3 台～8 台の UPS で冗長電源構成を組む場合に選択します。 ＜シャットダウン条件＞ 入力電源異常等で商用運転をしている UPS が N 台を切ったら、シャットダウンを開始します。
1+1	2 台の UPS で冗長電源構成を組む場合に選択します。 ＜シャットダウン条件＞ 1 台目が入力電源異常（又は停止状態）時に 2 台目が入力電源異常になったらシャットダウンを開始します。				
N+1	3 台～8 台の UPS で冗長電源構成を組む場合に選択します。 ＜シャットダウン条件＞ 入力電源異常等で商用運転をしている UPS が N 台を切ったら、シャットダウンを開始します。				
冗長グループ 最大 UPS 台数	冗長電源構成に使う UPS の台数（=コンピュータの電源ユニット数）です。				
冗長優先	複数の本製品が同時に停電を検出した場合に、シャットダウンスクリプトを実行するための優先順位づけです。 時間差で停電になった場合は関係ありません。				
冗長グループ ネットワークカード/UPS 情報一覧	グループの構成情報を表示します。 全ての UPS が「監視中」になっていれば、構成は正常に組んでいます。				

注意

一度組んだ冗長設定を変更する場合は、冗長設定を解除した後、再構築してください。

<解除手順>

- ① 「冗長グループ名」で「なし」を選択
- ② 「設定」ボタンを押す
- ④ 「冗長状態」が「スタンバイ中」になる
- ⑤ 「冗長グループ ネットワークカード/UPS 情報一覧」から表示が消える

冗長設定

冗長状態 スタンバイ中

冗長グループ名 なし ▾

冗長構成 1+1 ▾

冗長グループ 最大UPS台数 2 ▾

冗長優先 1 ▾

冗長グループ ネットワークカード/UPS情報一覧

IP アドレス	UPS型式	UPS状態	バッテリー状態	構成	グループ名	最大台数	状態	優先

※冗長設定の解除は冗長構成中の全ての本製品で行ってください（1+1 構成の場合、2 台の本製品で行う）。

3-10 イベント情報一覧

現在発生しているイベントを表示します。

イベント情報一覧

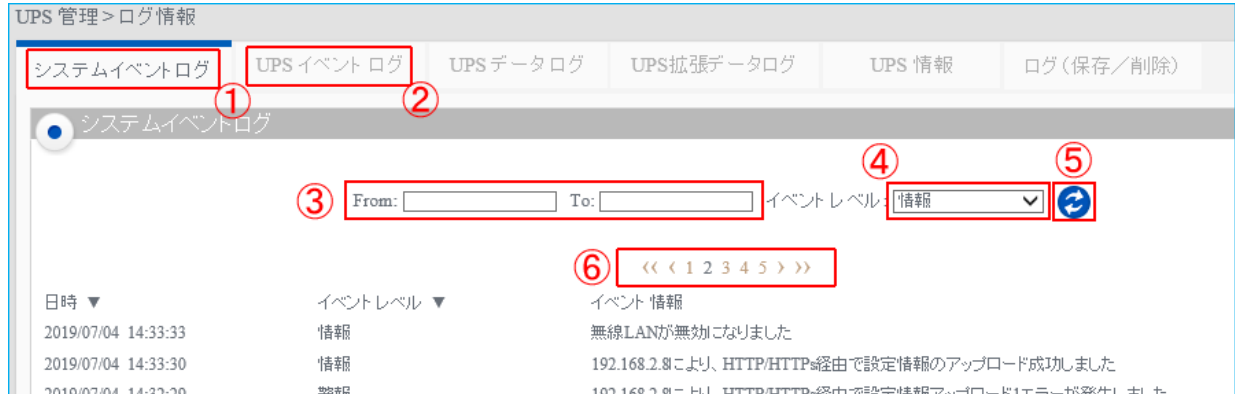
No.	日時	イベント情報
3	2019/07/05 14:39:05	入力電源異常
4	2019/07/05 14:39:05	UPSは、バッテリー運転中です

3-11 ログ情報

電源の状態や発生するイベントのログを表示、保存できます。

■ イベントログ

本製品と UPS のイベントが確認できます。



	項 目	概 要						
①	システムイベントログ	本製品で上がったイベントを記録します。 最大：1024 行						
②	UPS イベントログ	UPS で上がったイベントを記録します。 最大：1024 行						
③	From To	期間を絞って、ログを表示できます。 From (To) の枠をクリックするとカレンダーが表示されますので、日付をクリックしてください。 また、テキストで日付 (yyyy/mm/dd) を入力することもできます。 From To で期間を限定したら、右側の「更新ボタン」をクリックします。						
④	イベントレベル	イベントレベルでログを絞って表示できます。 <table border="1" data-bbox="620 1525 1382 1675"> <tbody> <tr> <td>情報</td> <td>全てのログ(情報/警報/重大)を表示します。</td> </tr> <tr> <td>警報</td> <td>警報以上のログ(警報/重大)を表示します。</td> </tr> <tr> <td>重大</td> <td>重大なログのみ表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	情報	全てのログ(情報/警報/重大)を表示します。	警報	警報以上のログ(警報/重大)を表示します。	重大	重大なログのみ表示します。
情報	全てのログ(情報/警報/重大)を表示します。							
警報	警報以上のログ(警報/重大)を表示します。							
重大	重大なログのみ表示します。							
⑤	更新ボタン	③「From To」と④「イベントレベル」を選択し、「更新ボタン」をクリックします。③と④で指定した条件に合ったイベント表示になります。						
⑥	ページ番号	イベントログを一定件数でページ分けしています。 1 ページのログ件数は、[カード管理] → [Web 構成] → 「Web 設定」 → 「ページ毎のログ表示数」で変更できます。 ☞ P.37 「4-6 Web 構成」						

■データログ

UPS の入力／出力の電圧、周波数やバッテリーの充電量等が確認できます。

日時	入力電圧(V)	入力周波数(Hz)	出力電圧(V)	出力周波数(Hz)	接続容量(%)	バッテリー電圧(V)	バッテリー容量(%)
2019/07/05 14:50:00	101.6	49.9	99.6	50.0	0	81.5	100.0
2019/07/05 14:49:00	101.4	49.9	99.6	49.9	0	81.6	100.0
2019/07/05 14:48:00	101.4	49.9	99.6	49.9	0	81.6	100.0
2019/07/05 14:47:00	101.7	49.9	99.6	50.0	0	81.5	100.0
2019/07/05 14:46:00	101.4	49.9	99.7	49.9	0	81.5	100.0
2019/07/05 14:45:00	101.4	49.9	99.7	49.9	0	81.5	100.0

項目	概要
① UPS データログ	<p>入力／出力電圧、周波数、負荷容量、バッテリー電圧等、UPS に関するデータを記録します。記録間隔は [カード管理] → [システム構成] → [カード設定] → 「ログ間隔」で変更できます。</p> <p>初期値：60 秒 最大：6144 行</p> <p>☞P.34 「4-1 カード設定」</p>
② UPS 拡張データログ	<p>UPS データログを設定した間隔毎に、最大、最小、平均値で記録します。記録間隔は [カード管理] → [システム構成] → [カード設定] → 「ログ間隔」で変更できます。</p> <p>初期値：60 分 最大：6144 行</p> <p>☞P.34 「4-1 カード設定」</p>
③ UPS 情報	<p>UPS 本体の情報を記録します。</p> <p>UPS 本体の障害解析時に利用するデータです。</p> <p>最大：1024 行</p>
④ From To	<p>期間を限定して、ログを表示できます。</p> <p>From (To) の枠をクリックするとカレンダーが表示されますので、日付をクリックしてください。</p> <p>また、テキストで日付 (yyyy/mm/dd) を入力することもできます。</p> <p>From To で期間を限定したら、右側の「更新ボタン」をクリックします。</p>
⑤ ページ番号	<p>データログを一定件数でページ分けしています。</p> <p>1 ページのログ件数は、</p> <p>[カード管理] → [Web 構成] → 「Web 設定」 → 「ページ毎のログ記録数」で変更できます。</p> <p>☞P.37 「4-6 Web 構成」</p>

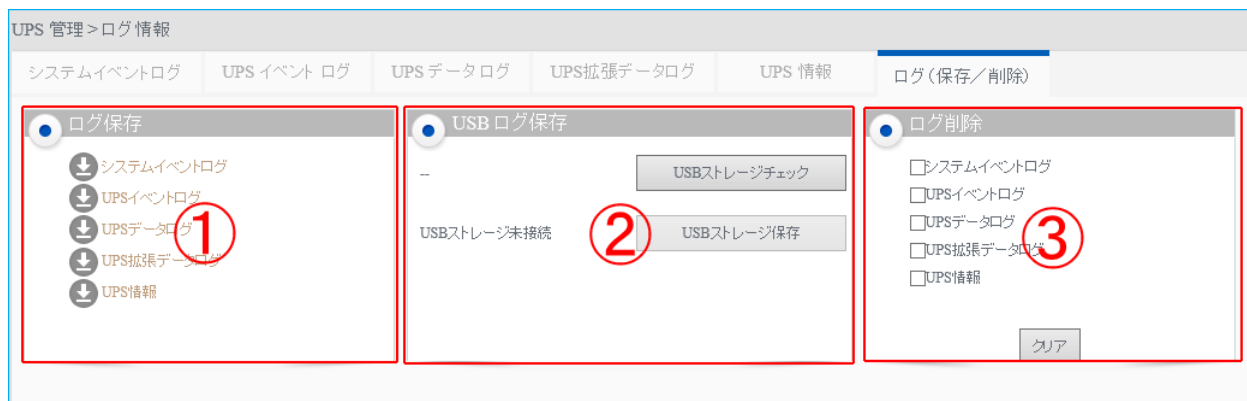
項目	概要
⑥ チャートボタン	<p>データログのグラフ化ボタンです。</p> <p>クリックすると、入力電圧／入力周波数／出力電圧／接続容量／内部温度／バッテリー容量をグラフ表示します。</p> <p>データ一覧表示に戻すには、左隣の「リストボタン」をクリックします。</p>

■ログ（保存／削除）

ログファイルの保存と削除ができます。

※以下の仕様を満たす USB メモリをご利用ください。

- ・ USB2.0 / 3.0
- ・ 500mA 以下
- ・ 4.75～5.25V (5.0V ±5%)



項目	概要
① ログ保存	<p>ログ項目毎に「csv」ファイルでダウンロードできます。</p> <p>項目前に表示されているダウンロードボタンをクリックします。</p>
② USB ログ保存	<p>本製品の USB ポート（タイプ A）に挿した USB メモリにログを一括保存できます。</p>
③ ログ削除	<p>項目毎にログを削除できます。</p> <p>対象の項目にチェックを入れ、[クリア] ボタンを押します。</p>

■ USB ログ保存の手順

①本製品の USB ポート（タイプ A）に USB メモリを挿す

②本製品にログインした後、[UPS 管理] → [ログ情報] → [ログ(保存/削除)] タブを開く



③USB 状態に「USB ストレージ接続済み」と表示されていることを確認する

※「USB ストレージ接続済み」と表示されない場合は、ブラウザの更新ボタンをクリックしてください。



④ [USB ストレージ保存] ボタンをクリックする

※「設定完了!」ウインドウが出たら「閉じる」をクリックします。



⑤USB 状態に「保存完了」と表示されたら、全ログファイルのダウンロードは完了

※状況により、ログのダウンロードには時間がかかることがあります。



⑥ [USB ストレージ取出し] ボタンをクリックし、本製品から USB メモリを外す

参考

[ログ(保存/削除)] タブを開いた後に USB メモリを挿した等、画面表示が更新されない場合は、以下の手順をお試しください。



① [USB ストレージチェック] ボタンをクリック

② Web ブラウザの更新ボタンをクリック

③ [ログ(保存/削除)] タブを開きなおす

4 カード管理

本製品の設定やファームウェアの更新ができます。

注意

設定を変更したら必ず [設定] ボタンをクリックしてください。

[設定] ボタンをクリックせずに別の画面を表示すると、設定変更した内容が反映されません。

4-1 カード設定

本製品の識別情報や時刻等の設定、設定値の初期化ができます。

項目	概要
① システム名	本製品の識別名称を設定できます。(半角英数 31 字まで)
設置場所	本製品の設置場所を設定できます。(半角英数 31 字まで)
② UPS データログ 記録間隔(秒)	UPS データログの記録間隔を設定します。
UPS 拡張データログ 記録間隔(分)	UPS 拡張データログの記録間隔を設定します。
③ [パラメータリセット] ボタン	本製品の設定値を初期値に戻します。 ※「管理者名」、「管理者パスワード」と「有線 LAN」の設定値は除きます。 ☞P.36「4-4 管理者設定」 ☞P.39「5-1 有線 LAN」
[再起動] ボタン	本製品が再起動します。Ping 死活監視設定の変更時にクリックし、再起動させてください。 ☞P.50「注意」
④ 日付/時刻	本製品の日時を表示します。
タイムゾーン	本製品の設置地域のタイムゾーンを選択します。
コンピュータの日時と同期	ラジオボタンにチェックし、[設定]ボタンをクリックすると操作しているコンピュータの日時と同期します。

項目	概要
NTP サーバの日時と同期	ラジオボタンにチェック、NTP サーバの IP アドレスを入力し、 [設定] ボタンをクリックすると、NTP サーバの時刻に同期します。 同期間隔：初回同期から 1 時間 / 1 日 / 1 週 / 1 月の範囲で設定 「1 月」の指定時は 30 日間隔
手動設定	日付(yyyy/mm/dd)と時刻(hh:mm:ss)を手動で設定します。

4-2 アップロード/ダウンロード

本製品の設定ファイルのダウンロードとアップロード等ができます。

項目	概要
① 設定ファイルアップロード ※1	本製品の設定ファイル (conf_file.json) をアップロード (書き込み) できます。 [ファイルを開く] ボタンで設定ファイルを選択し、[アップロード] ボタンをクリックしてください。
② 設定ファイルダウンロード ※1	本製品の設定内容をダウンロード (書き出し) できます。 ファイル名 : conf_file.json (初期値)
③ CA ファイルアップロード ※1	CA ファイルのアップロードができます。 [ファイルを開く] ボタンで CA ファイルを選択し、[アップロード] ボタンをクリックします。
④ ルート証明ファイルダウンロード	SSL 接続時のルート証明書をダウンロードできます。 ファイル名 : rootca.crt

※1 ログイン中のみ表示します。

4-3 マルチユーザ設定

ログインユーザ毎に本製品へのアクセス制御をかけることができます。8 ユーザまで登録できます。

項目	概要
ユーザ名	制御対象のログインユーザ名 (半角 64 文字まで) を入力します。
パスワード	ログインユーザのパスワードを入力します。
アクセスレベル	「無効」、「リードオンリー」、「リード/ライト」より選択します。

参考

・プロトコル設定の「ゲストアクセス」で、ゲストの Web モニタ閲覧を禁止することができます。

☞P.44 「5-3 プロトコル設定 (詳細設定)」

[ネットワーク] → [プロトコル設定] → [詳細設定] → 「各種設定」 → 「ゲストアクセス」

4-4 管理者設定

本製品の管理者名、管理者パスワードの変更ができます。

	項 目	概 要
①	管理者名	現在の「管理者名」(変更前)を表示します。 初期値 OMRON
	新管理者名	新しい「管理者名」(変更後)を入力します。 (半角英数 64 文字まで)
	管理者パスワード	現在の「管理者パスワード」を入力します。
②	管理者パスワード	現在の「管理者パスワード」を入力します。
	新管理者パスワード	新しい「管理者パスワード」を入力します。 (半角英数 64 文字まで)
	新管理者パスワード再入力	新しい「管理者パスワード」を再入力します。

4-5 RADIUS 設定

RADIUS 認証の設定ができます。

項 目	概 要
UDP ポート	UDP ポート番号を入力します。 初期値 1812
プライマリサーバ	RADIUS サーバ(プライマリ)の IP アドレスを入力します。
セカンダリサーバ	RADIUS サーバ(セカンダリ)の IP アドレスを入力します。
共有シークレットプライマリサーバ	プライマリサーバの共有シークレット文字列を入力します。
共有シークレットセカンダリサーバ	セカンダリサーバの共有シークレット文字列を入力します。
パケットタイムアウト(秒)	タイムアウト時間を設定します。 初期値 1 秒
パケットリトライ回数	リトライ回数を設定します。 初期値 3 回

4-6 Web 構成

Web モニタの更新間隔やログイン時のタイムアウトに関する設定ができます。

① Web 設定

項目	概要
自動ログアウト	無操作時間のカウントでログアウトする機能を無効にすることができます。 初期値：有効
Web 更新間隔(秒)	Web モニタの更新間隔を設定します。 初期値：15 秒
ページ毎のログ表示数	ログ情報の画面に関する設定です。 1 ページとするログの行数を設定します。 初期値：20 行
自動ログアウト (秒)	ログイン状態のまま本設定の秒数を経過すると、自動的にログアウトします。 初期値：600 秒 「自動ログアウト」を無効にすると、本設定も無効になります。 ☞P.44 「5-3 プロトコル設定 (詳細設定)」

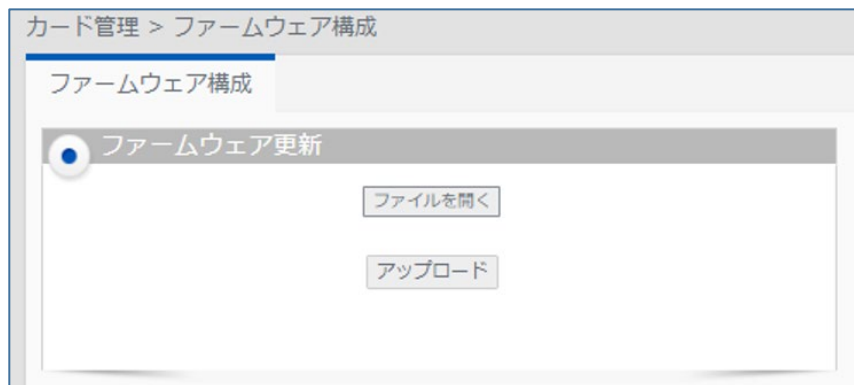
② 外部リンク設定

メニューの「外部リンク」欄に Web ページのリンクを追加することができます。

4-7 ファームウェア構成

本製品のファームウェアを更新することができます。

[ファイルを開く] ボタンでファームウェアを選択し、[アップロード] ボタンをクリックします。
最新のファームウェアは当社ホームページからダウンロードいただけます。



参考

本製品のファームウェアのバージョンは、「製品情報」で確認できます。

[システム状態] → [UPS モニタ] → [製品情報] → [ネットワークカード] → 「ファームウェア」

☞P.11 「2-3 製品情報」

注意

ファームウェアを更新する場合は、本製品のファームアップ手順書を参照してください。

ファームウェアの更新前に設定データをバックアップするなど、詳細な手順を記載しています。

5 ネットワーク管理

本製品のネットワーク機能に関する設定ができます。

注意

設定を変更したら必ず [設定] ボタンをクリックしてください。

[設定] ボタンをクリックせずに別の画面を表示すると、設定変更した内容が反映されません。

5-1 有線 LAN

本製品のネットワークポートに関する設定ができます。

項目	概要
① IPv4	
IP アドレス	本製品の IPv4 の IP アドレスを設定します。 初期値：192.168.2.150
ゲートウェイアドレス	本製品のデフォルトゲートウェイの設定をします。 初期値：192.168.2.1
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを設定します。 初期値：255.255.0.0
BootP/DHCP	本製品の IP アドレス等を DHCP サーバ等から取得させたい場合、有効にします。本項目は [プロトコル設定] の「BootP/DHCP」と同じです。どちらからでも変更ができます。 ※本製品の IP アドレスが運用中に自動で変わってしまうと、「Web モニタ画面が表示できない」、「PowerAct Pro Slave Agent との通信ができない」という問題が発生するため、IP アドレスは固定で使用するをお勧めします。 初期値：無効 ☞P.44 「5-3 プロトコル設定 (詳細設定)」
DNS アドレス 1	プライマリ DNS の設定をします。 初期値：0.0.0.0
DNS アドレス 2	セカンダリ DNS の設定をします。 初期値：0.0.0.0

	項 目	概 要
②	IPv6	
	モード選択	IPv6 の設定方法を選択します。 初期値：無効 選択肢：無効／自動設定／DHCPv6／手動設定

5-2 無線 LAN

ワイヤレスネットワークの設定ができます。別売りの無線 LAN アダプタが必要です。

設定方法は次項の「無線 LAN 設定手順」をご確認ください。

※対応無線 LAN アダプタ：TPLINK 製 TL-WIN823N/TL-WIN725N

	項目	概要
①	無線 LAN 状態	USB ポート（タイプ A）に接続した無線 LAN アダプタの状態を表示します。「BootP/DHCP」を無効にすると、手で IP アドレスを設定することができます。
②	セキュリティ設定	無線 LAN アクセスポイントを手動で設定できます。
	SSID	無線 LAN アクセスポイントの SSID を入力します。
	セキュリティ種類	無線 LAN アクセスポイントのセキュリティの種類を選択します。 選択肢：なし / WEP / WPA-PSK / WPA2-PSK
	暗号化種類	無線 LAN アクセスポイントの暗号化の種類を選択します。 選択肢：なし / TKIP / AES / TKIP+AES
	パスワード	無線 LAN アクセスポイントのパスワードを入力します。
③	無線 LAN 一覧	無線 LAN アダプタが有効になると、自動検出された無線 LAN アクセスポイントが表示されます。 接続するアクセスポイントのパスワード欄に、パスワードを入力し、[選択] ボタンをクリックします。 アクセスポイントとの通信が確立すると、無線 LAN アダプタの IP アドレス等が自動取得されます。

参考

プロトコル設定で「無線 LAN アクセス」を「有効」にすると本設定画面が有効になります。

[ネットワーク] → [プロトコル設定] → [詳細設定] → 「無線 LAN アクセス」

☞P.45 「無線 LAN アクセス」

■無線 LAN 設定手順

- ① 本製品の USB ポート（タイプ A）に無線 LAN アダプタを挿す
- ② [ネットワーク] → [プロトコル設定] → [詳細設定] を開く



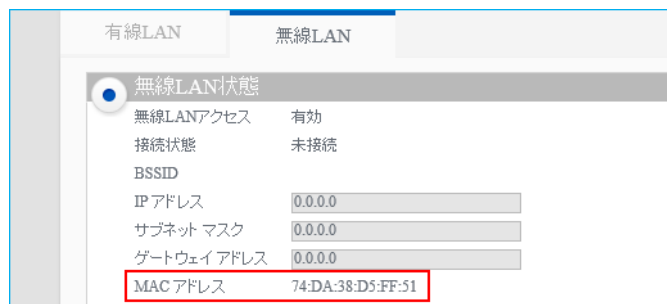
- ③ 「無線 LAN アクセス」を有効にし、[設定] ボタンをクリックする



- ④ [ネットワーク] → [ネットワーク設定] → [無線 LAN] を開く



- ⑤ 「無線 LAN 状態」に無線 LAN アダプタの MAC アドレスが表示されていることを確認する



- ⑥ 「無線 LAN 一覧」で接続先にパスワードを入力し、[接続] ボタンをクリックする

No.	SSID	BSSID	チャンネル	セキュリティ種類	信号強度	パスワード	選択
1	aterm-71a72c-g	12:66:82:6c:71:c4	1	WPA2-PSK	72	<input type="text"/>	接続
2	aterm-46ab4f-g	12:66:82:6d:38:16	1	WPA2-PSK	68	<input type="password"/>	接続
3	aterm-279b10-g	12:66:82:6c:05:02	2	WPA2-PSK	64	<input type="text"/>	接続
4	W01_18D276879054	18:d2:76:87:90:54	6	WPA2-PSK	62	<input type="text"/>	接続
5		50:1c:bf41:78:a0	1	WPA2-PSK	47	<input type="text"/>	接続
6	W01_7C11CB60AA86	7c:11:cb:60:aa:86	8	WPA2-PSK	47	<input type="text"/>	接続

- ⑦ 「無線 LAN 状態」で IP アドレス等の情報が入っていることを確認する

無線LAN状態	
無線LANアクセス	有効
接続状態	接続済み
BSSID	12:66:82:6d:38:16
IP アドレス	192.168.2.12
サブネット マスク	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	192.168.2.1
MAC アドレス	74:DA:38:D5:FF:51

※画面の更新には時間がかかる場合があります。しばらく経っても画面が更新されない場合は、ブラウザの更新ボタンをクリックし、[無線 LAN] タブを開きなおしてください。

参考

「無線 LAN 一覧」では、通信が確立したアクセスポイントの背景が青くなります。

No.	SSID	BSSID	チャンネル	セキュリティ種類	信号強度	パスワード	選択
1	aterm-71a72c-g	12:66:82:6c:71:c4	1	WPA2-PSK	70	<input type="text"/>	接続
2	aterm-46ab4f-g	12:66:82:6d:38:16	1	WPA2-PSK	67	<input type="text"/>	接続
3	aterm-279b10-g	12:66:82:6c:05:02	2	WPA2-PSK	65	<input type="text"/>	接続

5-3 プロトコル設定（詳細設定）

通信プロトコルの設定ができます。

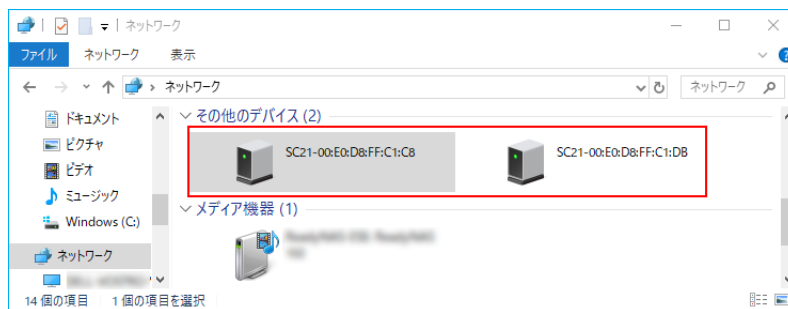


① 各種設定

プロトコルの有効/無効設定ができます。

項 目	概 要
BootP/DHCP	IP アドレスを DHCP サーバ等から自動取得することができます。 初期値：無効（IP アドレスは自動取得しません。）
PING 応答	Ping に応答しない設定ができます。 初期値：有効（Ping に応答します。）
ネットワークアップグレード	Web モニタ経由の本製品のファームアップを無効にすることができます。初期値：有効（ファームアップ可能です。） ☞P.38 「4-7 ファームウェア構成」
HTTP/HTTPS アクセス	Web モニタ接続用の http/https ポートを閉じることができます。 初期値：有効（http/https ポートでのアクセスが可能です。） ※「無効」にすると http/https ポートでアクセスできなくなります。
強制 HTTPS アクセス	Web モニタへの接続を強制的に SSL 接続にすることができます。 初期値：無効 ※有効にすると http ポートでのアクセスはできなくなり、強制的に SSL 接続(https)になります。 ※ルート証明書は、[カード管理] → [システム構成] → [アップロード/ダウンロード] からダウンロードできます。 ☞P.35 「4-2 アップロード/ダウンロード」.
ゲストアクセス	ゲストの Web モニタ閲覧を禁止することができます。 初期値：有効（ログインしなくても Web モニタの閲覧が可能です。） ※無効にした場合、ログインしなければ Web モニタの閲覧ができません。

項目	概要
SSH アクセス	本製品への SSH 接続を無効にすることができます。 初期値：有効（本製品に SSH 接続でログインできます。）
SNMP アクセス	SNMP 機能を無効にすることができます。 初期値：有効 ☞P.46 「5-4 SNMP 設定」 ☞P.60 「5-12 イベント通知 (SNMP Trap)」
SMTP アクセス	E メール送信機能を無効にすることができます。 初期値：有効 ☞P.58 「5-11 イベント通知 (E メール)」
NTP アクセス	NTP サーバに時刻同期する機能を無効にすることができます。 初期値：有効 ☞P.34 「4-1 カード設定」
UpnP アクセス	Windows OS の「ネットワーク」に、本製品を UpnP デバイスとして表示させることができます。 初期値：無効（非表示）
無線 LAN アクセス	無線 LAN アダプタを使用することができます。 初期値：無効（使用しない） ☞P.41 「5-2 無線 LAN」
TELNET アクセス	本製品への TELNET 接続を有効にすることができます。 初期値：無効
Modbus TCP	Modbus 機能を無効にすることができます。 初期値：有効



② ネットワークポート設定

ネットワークポート値の変更ができます。

項目	初期値
HTTPS	443
HTTP	80
SSH	22
SNMP	161
SMTP	25
TELNET	23
Modbus	502

5-4 SNMP 設定

SNMP の設定ができます。

① SNMP V1 / V2c 設定

項 目	概 要
コミュニティ (読込み)	リードのみのコミュニティを設定します。 初期値 : public
コミュニティ (書込み)	リード/ライト可能なコミュニティを設定します。 初期値 : private

② SNMP v3 USM 設定

項 目	概 要						
ユーザ名	ユーザ名を入力します。						
認証プロトコルパスワード	認証プロトコルのパスワードを入力します。						
認証プロトコル	認証プロトコルを MD5、SHA から選択します。						
プライバシープロトコルパスワード	プライバシープロトコルのパスワードを入力します。						
プライバシープロトコル	プライバシープロトコルを DES、AES から選択します。						
セキュリティレベル	セキュリティレベルを選択します。 <table border="1" data-bbox="619 1137 1380 1285"> <tbody> <tr> <td>noAuthNoPriv</td> <td>ユーザ名のみで認証、暗号化なし</td> </tr> <tr> <td>authNoPriv</td> <td>認証プロトコルで認証、暗号化なし</td> </tr> <tr> <td>authPriv</td> <td>認証プロトコルで認証、暗号化あり</td> </tr> </tbody> </table>	noAuthNoPriv	ユーザ名のみで認証、暗号化なし	authNoPriv	認証プロトコルで認証、暗号化なし	authPriv	認証プロトコルで認証、暗号化あり
noAuthNoPriv	ユーザ名のみで認証、暗号化なし						
authNoPriv	認証プロトコルで認証、暗号化なし						
authPriv	認証プロトコルで認証、暗号化あり						

5-5 IP フィルタリング設定

IP フィルタリングの設定ができます。8 件まで登録できます。

項 目	概 要
IP アドレス	フィルタリング対象の IP アドレスを入力します。
プリフィックス長	フィルタリング対象のプリフィックス長を入力します。
モード選択	許可、拒否から選択します。

5-6 Wake On LAN 設定（詳細設定）

特定のイベント発生時に本製品から Wake On LAN（以下 WOL という）パケットを出すことができます。

① WOL 設定

項目	概要
リピート回数	WOL パケットを出す回数を設定します。 初期値：1
時間間隔（秒）	WOL パケットを複数回出す設定をした場合、その間隔を設定します。 初期値：1

参考

- ・[停止] ボタンをクリックすると実行中の WakeOnLAN テストを停止します。

② WOL 条件

WOL パケットのトリガーとなるイベントです。

WOL を出したいイベントにチェックを入れてください。

項 目	概 要
入力電源異常	入力電源異常時 停電や入力電圧、周波数の変動等、UPS が入力電源の異常と判定すると上がるイベントです。この時 UPS はバックアップ運転を行います。
死活監視異常	死活監視機能で異常判定時 異常と判定する条件は、[ネットワーク] → [死活監視設定] で設定します。☞P.50「5-7 死活監視設定（詳細設定）」
スケジュールシャットダウン	スケジュールシャットダウン開始時 ☞P.24「3-7 スケジュール（停止／起動）」
全出力コンセント出力開始	全出力コンセント出力開始をチェックすると、出力コンセント A/B/C が全てチェックありになります。
即時シャットダウン	即時シャットダウン開始時 ☞P.14「3-2 UPS 制御」
出力開始 出力コンセント A/B/C	出力コンセント制御機能のある UPS で、出力コンセントグループ A/B/C の出力開始時。 出力コンセントグループ単位で設定できます。 ☞P.17「3-3 シャットダウン設定 ⑤」

注意

WOL 条件では、複数の条件を選択することができますが、チェックを入れた内容と期待している動作が合致していることを確認して設定してください。

(例)「入力電源異常」と「死活監視異常」にチェックを入れた場合

- ・「入力電源異常」を検出時に WOL パケットを送信します。
- ・「死活監視異常」を検出時に WOL パケットを送信します。

(例)「出力コンセント B」「出力コンセント C」にチェックを入れた場合

- ・「出力コンセント B」の出力開始時に WOL パケットを送信します。
- ・「出力コンセント C」の出力開始時に WOL パケットを送信します。

※「出力コンセント B」「出力コンセント C」の出力開始タイミングが異なる設定の場合、同じ機器に 2 回の WOL パケットを送信します。

※全ての出力コンセントが出力開始したあとに WOL パケットを 1 回だけ送信したい場合は、最後に出力を開始する出力コンセントグループ 1 つだけにチェックを入れてください。

③ WOL 一覧

WOL 対象機器の設定欄です。24 件まで登録できます。

項 目	概 要
選択	WOL のテスト時にチェックします。
MAC アドレス	WOL パケットで起動させたい機器の MAC アドレスを設定します。
モード選択	WOL パケットの有効／無効設定です。 「送信しない」を選択すると、イベントが発生しても WOL パケットは送信しません。 選択肢：送信する／送信しない
説明	メモ欄です。
[Wake On LAN テスト] ボタン	対象機器に Wake On LAN のテストができます。 <テスト手順> 1. 「選択」欄にチェック 2. 「モード選択」欄で「送信する」を選択 3. [Wake On LAN テスト] ボタンをクリックする

注意

[Wake On LAN テスト] では、WOL 一覧でテストを実施したい機器に対して WOL パケットを送信し、WOL の機能で機器が起動することを確認しますが、WOL 条件は考慮していません。

WOL の機能を使用する場合、以下の手順で WOL の動作を確認していただくことを推奨します。

1. [Wake On LAN テスト] 機能で、個々の機器の WOL による起動を確認する。
2. 実際に WOL 条件の状態を発生させて、期待した動作結果になることを確認する。

5-7 死活監視設定（詳細設定）

Ping による死活監視ができます。

注意

「VA シャットダウン」設定を有効にすると、本設定が無効になります。

① 死活監視設定

項目	概要
合格回数	合格とする Ping 応答回数を設定します。 ※合格回数 1、テスト回数 2 の場合、1/2 回 Ping 応答があれば合格
テスト回数	1 回のテストで Ping を送る回数を設定します。
時間間隔 (分)	テストの実行間隔を設定します。 1 分刻みで 1～10 分と 60 分から選択できます。

注意

一旦 Ping 死活監視の設定をした後、設定を変更する場合は、[設定] ボタンをクリックした後、「カード制御」の [再起動] ボタンで本製品を再起動してください。

☞ [カード管理] → [システム構成] → [カード設定] → 「カード制御」 → 「カード再起動」

☞ P.34 「4-1 カード設定」

本製品は再起動時に設定値を読み込み、再起動から「時間間隔 (分)」後に Ping 死活監視を開始します。本製品の再起動から設定した「時間間隔 (分)」の間は、Ping 監視はできません。

② 出力コンセント A/B/C 共通

※UPS 本体の出力コンセント制御の有無により機種毎に設定できる内容が異なります。

項 目	概 要										
テスト	Ping テスト時にチェックボックスにチェックします。										
IP アドレス/ホスト名	死活監視対象の IP アドレス/ホスト名を入力します。										
説明	メモ欄です。										
シャットダウン動作	<p>「UPS 動作」で「出力停止」、「出力停止／開始」を選択した場合に有効な設定です。「シャットダウンする」を選択すると、異常判定時、監視対象の IP アドレスにシャットダウンスクリプトを実行します。</p> <p>☞シャットダウンスクリプトは、「スクリプトシャットダウン」で設定します。P.20「3-5 スクリプトシャットダウン」</p>										
テスト結果	Ping テストの結果を表示します。結果表示：なし／合格／不合格										
死活監視異常台数	異常と判定する台数を設定します。選択肢：1～6										
UPS 動作	<p>異常判定時の出力コンセントの動作を選択します。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>出力停止</td> <td>出力コンセント B/C の出力を OFF にします。</td> </tr> <tr> <td>出力停止／開始</td> <td>出力コンセント B/C の出力を OFF、ON します。</td> </tr> <tr> <td>UPS 停止</td> <td>UPS の電源を OFF にします。</td> </tr> <tr> <td>UPS 停止／起動</td> <td>UPS の電源を OFF、ON します。</td> </tr> <tr> <td>継続運転</td> <td>何もせず、そのまま運転を継続します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>☞「UPS 停止」、「UPS 停止／起動」を選択している場合、異常判定時は「スクリプトシャットダウン」に設定したシャットダウンスクリプトを実行します。</p> <p>☞「UPS 動作」の選択肢は、UPS 本体の出力コンセント制御の有無に依存します。詳細は、「■出力コンセント A/B/C の「UPS 動作」で選択可能な動作設定」を参照してください。</p>	出力停止	出力コンセント B/C の出力を OFF にします。	出力停止／開始	出力コンセント B/C の出力を OFF、ON します。	UPS 停止	UPS の電源を OFF にします。	UPS 停止／起動	UPS の電源を OFF、ON します。	継続運転	何もせず、そのまま運転を継続します。
出力停止	出力コンセント B/C の出力を OFF にします。										
出力停止／開始	出力コンセント B/C の出力を OFF、ON します。										
UPS 停止	UPS の電源を OFF にします。										
UPS 停止／起動	UPS の電源を OFF、ON します。										
継続運転	何もせず、そのまま運転を継続します。										

■ボタン

項 目	概 要
[詳細] ボタン	出力コンセント A/B/C のテスト状況や設定内容の概要が確認できるウインドウを表示します。
[設定] ボタン	設定内容を書き込みます。
[テスト] ボタン	<p>Ping の送信テストをします。「テスト」欄のチェックボックスにチェックし、[テスト] ボタンをクリックします。</p> <p>※テストは [設定] ボタンで設定を書き込んだ後に行ってください。</p>
[停止] ボタン	テスト実行後に [停止] ボタンをクリックすると、テストの動作を中断します。

■出力コンセント A/B/C の「UPS 動作」で選択可能な動作設定

「UPS 動作」の動作設定は、UPS 本体の出力コンセント制御の有無に依存します。

UPS のコンセント制御の有無	UPS 動作で選択可能な動作設定	
コンセント制御なしの機種	出力コンセント A	UPS 停止、UPS 停止／起動、継続運転
	出力コンセント B	選択不可。出力コンセント B、出力コンセント C の設定項目を表示しません。
	出力コンセント C	
コンセント B/C の制御が可能な機種 (コンセント A 制御不可)	出力コンセント A	UPS 停止、UPS 停止／起動、継続運転
	出力コンセント B	出力停止、出力停止／開始、UPS 停止、UPS 停止／起動、継続運転
	出力コンセント C	
コンセント A/B/C の制御が可能な機種	出力コンセント A	出力停止、出力停止／開始、UPS 停止、UPS 停止／起動、継続運転
	出力コンセント B	
	出力コンセント C	

■死活監視設定の「シャットダウン動作」「UPS 動作」とスクリプト実行動作の関係

	シャットダウン動作					
	コンセント A		コンセント B		コンセント C	
	シャットダウンする	シャットダウンしない	シャットダウンする	シャットダウンしない	シャットダウンする	シャットダウンしない
UPS 動作						
出力停止	○A	×	○B	×	○C	×
出力停止／開始						
UPS 停止	◎	◎	◎	◎	◎	◎
UPS 停止／開始						
継続運転	×	×	×	×	×	×

<スクリプト実行動作の説明>

×	スクリプトを送信しない
○A	死活監視設定でコンセント A グループに設定した No.1～No.6 の IP アドレスと合致するスクリプトシャットダウン設定の機器にスクリプトを送信します。
○B	死活監視設定でコンセント B グループに設定した No.1～No.6 の IP アドレスと合致するスクリプトシャットダウン設定の機器にスクリプトを送信します。
○C	死活監視設定でコンセント C グループに設定した No.1～No.6 の IP アドレスと合致するスクリプトシャットダウン設定の機器にスクリプトを送信します。
◎	コンセント A、コンセント B、コンセント C の「シャットダウン動作」の設定に関係なく、UPS を停止します。UPS を停止するため、スクリプトシャットダウン設定の実行条件を「シャットダウン」に設定している機器の全てにスクリプトを送信します。

5-8 PoE ポート制御設定（詳細設定）

PoE 装置（スイッチ）に接続されている機器に対し、死活監視（Ping）を行い、異常を検知した場合、対象の PoE ポートへの電力供給を制御して、接続されている機器を停止、停止／起動、起動をさせることができます。

また、PoE 対応スイッチに接続されている機器との死活監視が正常を検知した場合、死活監視を再開します。

※ UPS シャットダウン動作時（入力電源異常、スケジュール運転、即時シャットダウンなど）時は、PoE ポート制御は行いません。

① PoE 装置

項目	概要
メーカー	登録済みメーカー[Panasonic/Cisco/NETGEAR/Apresia]を選択します。 登録済みメーカーのサンプルスクリプトが本製品に組み込まれています。 [VENDER5]は未登録です。 メーカー名は、編集可能です。
IP アドレス	PoE 装置（スイッチ）の IP アドレスと入力します。
ログイン ID	PoE 装置（スイッチ）のログイン ID を設定します。 ※ 「Panasonic/Apresia/VENDER5」を選択している場合は、管理者のログイン ID を入力します。 ※ 「Cisco/NETGEAR」を選択している場合は、ユーザのログイン ID を入力します。
パスワード	PoE 装置（スイッチ）のパスワードを設定します。 ※ 「Panasonic/Apresia/VENDER5」を選択している場合は、管理者のパスワードを入力します。 ※ 「Cisco/NETGEAR」を選択している場合は、ユーザのパスワードを入力します。
特権パスワード	PoE 装置（スイッチ）の特権パスワードを設定します。 ※ 「Cisco/NETGEAR」を選択している場合のみ表示されますので、管理者になるための特権パスワードを入力します。

項 目	概 要
プロトコル	スクリプトの通信方式を設定します。 選択肢：無効 / Telnet / SSH 「無効」を選択するとスクリプトを実行しません。
再接続回数	スクリプトのリトライ回数を設定します。 初期値：5
コマンドタイムアウト (秒)	スクリプトのタイムアウト時間を設定します。 初期値：10

② スクリプト編集

項 目	概 要
NW ポート動作	NW ポートの「停止」「停止／起動」「起動」から選択し、対象の動作に対応したスクリプトを表示します。 「無効」を選択すると、スクリプトを表示しません。
スクリプト内容	NW ポート動作で選択した対象のスクリプトを編集することができます。 スクリプトの上限は 1023byte です。 スクリプトで記述した文字数を右上に表示します。

注意

- ・スクリプト編集用の NW ポート動作で「無効」を選択しても、NW ポートの動作は無効になりません。この「無効」の選択は、スクリプト内容の表示／編集欄を非表示にするだけです。
- ・スクリプトの編集で、ポート番号および特権パスワードは、スクリプト内に記述されている <Port No>と[Enable Secret]を元に置換され、スクリプトを実行しますので、[Enable Secret]と <Port No>を編集しないでください。
- ・本製品で登録済メーカ[Panasonic/Cisco/NETGEAR/Apresia]のサンプルスクリプトを準備していますが、PoE 装置（スイッチ）の機種やファームバージョンでスクリプトの内容に変更が必要な場合があります。
当社ホームページまたは、PoE 装置（スイッチ）の CLI コマンドをご確認ください。

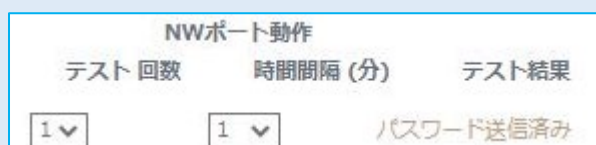
③ NW ポート動作

項 目	概 要
テスト	スクリプトテスト時にチェックします。 <テスト方法> チェックボックスにチェックを入れ、下段の[テスト]ボタンをクリックすると登録したスクリプトが実行されます。
NW ポート	NW ポート番号です。 ※編集不可
接続機器 IP アドレス	NW ポートに接続されている機器（例えば Web カメラなど）の IP アドレスを入力します。
NW ポート動作	死活監視異常時の動作を選択します。 [停止]：NW ポートへの PoE 給電を停止 [停止／起動]：NW ポートへの PoE 給電を停止／開始 [起動]：NW ポートへの PoE 給電を開始

項 目	概 要
合格回数	合格とする死活監視応答回数を設定します。 ※合格回数 1、テスト回数 2 の場合、1 / 2 回死活監視応答があれば合格
テスト回数	1 回のテストで死活監視を送る回数を設定します。
時間間隔 (分)	テストの実行間隔を設定します。 1 分刻みで 1 ~ 10 分と 60 分から選択できます。
テスト結果	スクリプトテストの結果を表示します。 テスト結果が NG の場合、ハイパーリンクが表示され、テスト結果の詳細を確認することができます。

参考

- ・テスト結果が NG の場合、ハイパーリンクからテスト結果の詳細を確認することができます。
(例) テスト結果の「パスワード送信済み」をクリックします。



- ・[停止] ボタンをクリックすると実行中のスクリプトテストを停止します。
- ・本製品と検証済の PoE スイッチの最新情報は、当社ホームページをご覧ください。

https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/bv-series/bv55rem-55re/bv_switch.html

5-9 Syslog 設定 (詳細設定)

Syslog (ログメッセージ) の設定ができます。

項 目	概 要
Syslog アクセス	Syslog アクセスの有効/無効を設定します。
ファシリティ	ファシリティ(ログの種別)を設定します。
Syslog サーバ 1 ~ 4	Syslog サーバの IP アドレスを設定します。
Syslog ポート	Syslog メッセージを送信するポート番号を設定します。
重要度レベル	イベント (重大/警報/情報) のプライオリティを設定します。

5-10 エージェント検索（クライアントコンピュータ情報/エージェント情報）

クライアントコンピュータや同一セグメント上に存在するネットワークカード、自動シャットダウンソフト (PowerAct Pro)を一覧で表示できます。

■クライアントコンピュータ情報（クライアントコンピューター一覧）

クライアントコンピュータは、本製品のクライアントソフト PowerAct Pro Slave Agent (以下 Slave Agent という) をインストールしたコンピュータです。

No.	IPアドレス	コンピュータ名	シャットダウン開始遅延	接続時間	出力コンセント
1	192.168.2.187	MYCOMPUTER	0	2018/06/15 10:22:31	出力コンセント B (Control)

項目	概要
接続コンピュータ台数	本製品のクライアントコンピュータの台数です。 コンピュータに Slave Agent をインストールし、本製品をマスタとして設定するとカウントされます。
IPアドレス	クライアントコンピュータの IP アドレスを表示します。
コンピュータ名	クライアントコンピュータのコンピュータ名を表示します。
シャットダウン開始遅延	Slave Agent の「シャットダウン開始遅延」時間を表示します。
接続時間	本製品と Slave Agent の通信開始時間を表示します。
出力コンセント	クライアントコンピュータを接続している出力コンセントを表示します。 Slave Agent の「出力コンセント選択」で手動設定します。

参考

<PowerAct Pro Slave Agent>

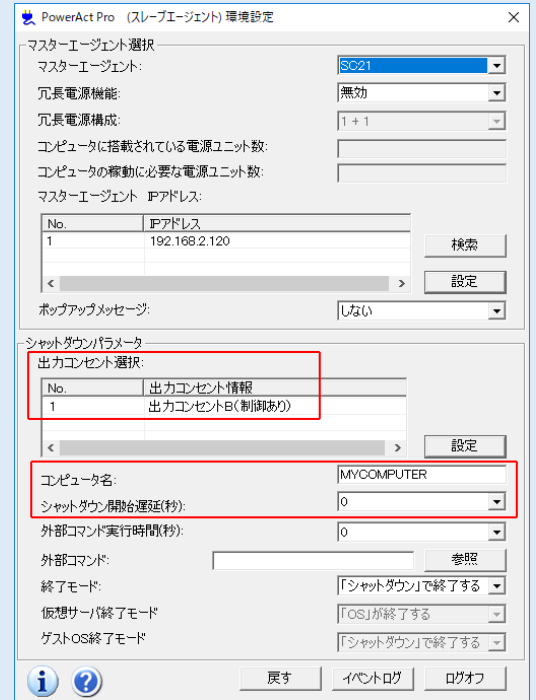
PowerAct Pro Slave Agent（以下 Slave Agent という）は本製品のクライアントシャットダウンソフトです。

コンピュータに Slave Agent をインストールすると、本製品が UPS をシャットダウンさせる時に、連携してコンピュータをシャットダウンすることができます。

<PowerAct Pro(スレーブエージェント)環境設定>

Slave Agent の設定は、「環境設定」画面（右図参照）で行います。赤枠の部分、「出力コンセント選択」、「コンピュータ名」、「シャットダウン開始遅延」の設定内容が、本製品の「クライアントコンピュータ情報」に表示されます。

Slave Agent の詳細は、Slave Agent のインストールガイドをご確認ください。



■エージェント情報（エージェント一覧）

エージェントとは UPS を管理するマスタ（エージェント）です。

エージェント情報に表示されるマスタは同一セグメントのネットワーク上に存在します。

なお、同一セグメント上で管理できる UPS（ネットワークカード）の最大数は 128 台です。

ネットワーク>エージェント検索				
クライアントコンピュータ情報		エージェント情報		
エージェント一覧				
マスタ	IP アドレス	UPS 型式	UPS 状態	バッテリー状態
WIN2019-...	192.168.2.11	BN100T	商用運転中	正常
SC21	192.168.2.122	BN100T	商用運転中	正常
SC21	192.168.2.153	BU100RW	商用運転中	正常
SC21	192.168.2.234	BN150XR	UPS 電源 オフ	正常

項目	概要
マスタ	ネットワークカード（SC22、SC21、SC20G/G2）の型式や PowerAct Pro MasterAgent がインストールされているコンピュータの「コンピュータ名」を表示します。マスタ名をクリックすると、それぞれのモニタ画面が開きます。
IP アドレス	マスタの IP アドレスを表示します。
UPS 型式	マスタが管理している UPS の型式を表示します。
UPS 状態	UPS の運転状態を表示します。
バッテリー状態	バッテリーの状態を表示します。

5-11 イベント通知 (Eメール)

UPS のイベントを E メールで通知できます。通知先は 8 件まで登録できます。

① Eメール設定

項目	概要
メールサーバ	SMTP サーバを設定します。(例: smtp.XXXXXXX.com)
ユーザ ID	メール送信時のユーザ ID を設定します。(64 文字まで) (例: 送信者 E メールアドレスの@より前)
パスワード	ユーザ ID のパスワードを設定します。
送信者 E メールアドレス	送信元の E メールアドレスを設定します。(64 文字まで)
件名	メールのタイトルを設定します。(半角英数 31 文字まで)
DNS アドレス	DNS サーバの IP アドレスを設定します。
レポート送信時間(hh:mm)	デイリーレポートの送信時間を設定します。
TLS 対応 E メール	TLS を使用する場合に設定します。

※メールサーバの仕様変更により、上記設定でもメールが送信できなくなる場合があります。

メールが送信できなくなる事象が発生した場合は、カスタマサポートセンターにご連絡ください。

② 受信者一覧

項 目	概 要								
メールアカウント	受信者のメールアドレスを設定します。(64文字まで)								
説明	メモ欄です。								
メールタイプ	送信メールの内容を設定します。 <table border="1" data-bbox="603 443 1366 976"> <tr> <td>なし</td> <td>メールを送信しません。</td> </tr> <tr> <td>イベント</td> <td>イベント発生時に、発生イベントをテキストで送信します。</td> </tr> <tr> <td>毎日ステータス</td> <td>デイリーレポート用。 全てのログを csv 形式で添付し、毎日定刻に送信します。 送信時刻は「レポート送信時間」欄で設定します。</td> </tr> <tr> <td>イベント /ステータス</td> <td>イベント発生時に、発生イベントをテキストで、全てのログを csv 形式で添付し、送信します。</td> </tr> </table>	なし	メールを送信しません。	イベント	イベント発生時に、発生イベントをテキストで送信します。	毎日ステータス	デイリーレポート用。 全てのログを csv 形式で添付し、毎日定刻に送信します。 送信時刻は「レポート送信時間」欄で設定します。	イベント /ステータス	イベント発生時に、発生イベントをテキストで、全てのログを csv 形式で添付し、送信します。
なし	メールを送信しません。								
イベント	イベント発生時に、発生イベントをテキストで送信します。								
毎日ステータス	デイリーレポート用。 全てのログを csv 形式で添付し、毎日定刻に送信します。 送信時刻は「レポート送信時間」欄で設定します。								
イベント /ステータス	イベント発生時に、発生イベントをテキストで、全てのログを csv 形式で添付し、送信します。								
フィルタタイプ /イベント選択	メール送信するイベントの設定をします。 <table border="1" data-bbox="603 1061 1366 1496"> <tr> <td>レベル</td> <td>イベントレベルで設定します。 「イベント選択」欄でイベントレベルを選択してください。 情報：全てのイベントを送信します。 警告：警告と重大のイベントを送信します。 重大：重大のイベントを送信します。</td> </tr> <tr> <td>個別</td> <td>イベント毎に設定します。 「イベント選択」欄で送信したいイベントを選択してください。</td> </tr> </table>	レベル	イベントレベルで設定します。 「イベント選択」欄でイベントレベルを選択してください。 情報：全てのイベントを送信します。 警告：警告と重大のイベントを送信します。 重大：重大のイベントを送信します。	個別	イベント毎に設定します。 「イベント選択」欄で送信したいイベントを選択してください。				
レベル	イベントレベルで設定します。 「イベント選択」欄でイベントレベルを選択してください。 情報：全てのイベントを送信します。 警告：警告と重大のイベントを送信します。 重大：重大のイベントを送信します。								
個別	イベント毎に設定します。 「イベント選択」欄で送信したいイベントを選択してください。								
[送信テスト] ボタン	メールの送信テストを行います。								

5-12 イベント通知 (SNMP Trap)

UPS のイベントを SNMP トラップで通知できます。通知先は 8 件まで登録できます。

イベント通知 > Eメール/SNMP Trap設定

Eメール
 SNMP Trap

● SNMP Trap設定

No.	NMS IPアドレス	コミュニティ名	Trapタイプ	Trapバージョン	フィルタタイプ	イベント選択	説明
1	192.168.2.187	*****	SWC2	v1	レベル	情報	
2			なし	v1	レベル	情報	
3			なし	v1	レベル	情報	

■SNMP Trap 設定

項 目	概 要						
NMS IP アドレス	トラップ送信先の IP アドレスを設定します。						
コミュニティ名	コミュニティを設定します。						
Trap タイプ	MIB の種類を選択します。 <table border="1" data-bbox="625 891 1386 1088"> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td>トラップを送信しません。</td> </tr> <tr> <td>SWC2</td> <td>本製品専用 MIB です。UPS 標準 MIB より詳細なイベントを送信できます。</td> </tr> <tr> <td>RFC1628</td> <td>UPS MIB です。</td> </tr> </tbody> </table>	なし	トラップを送信しません。	SWC2	本製品専用 MIB です。UPS 標準 MIB より詳細なイベントを送信できます。	RFC1628	UPS MIB です。
なし	トラップを送信しません。						
SWC2	本製品専用 MIB です。UPS 標準 MIB より詳細なイベントを送信できます。						
RFC1628	UPS MIB です。						
Trap バージョン	SNMP のバージョンを選択します。 選択肢 : v1 / v2c / v3						
フィルタタイプ / イベント選択	送信するイベントを設定します。 <table border="1" data-bbox="625 1274 1386 1711"> <tbody> <tr> <td>レベル</td> <td>イベントレベルで設定します。 「イベント選択」欄でイベントレベルを選択してください。 情報 : 全てのイベントを送信します。 警告 : 警告と重大のイベントを送信します。 重大 : 重大のイベントを送信します。</td> </tr> <tr> <td>個別</td> <td>イベント毎に設定します。 「イベント選択」欄で送信したいイベントを選択してください。</td> </tr> </tbody> </table>	レベル	イベントレベルで設定します。 「イベント選択」欄でイベントレベルを選択してください。 情報 : 全てのイベントを送信します。 警告 : 警告と重大のイベントを送信します。 重大 : 重大のイベントを送信します。	個別	イベント毎に設定します。 「イベント選択」欄で送信したいイベントを選択してください。		
レベル	イベントレベルで設定します。 「イベント選択」欄でイベントレベルを選択してください。 情報 : 全てのイベントを送信します。 警告 : 警告と重大のイベントを送信します。 重大 : 重大のイベントを送信します。						
個別	イベント毎に設定します。 「イベント選択」欄で送信したいイベントを選択してください。						
説明	メモ欄です。						

6 コンソールモード

本製品の一部設定はコンソールモードで変更することができます。

参考

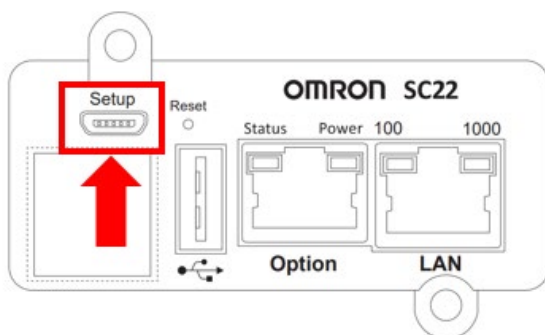
本製品のコンソールモードが対応している OS は Windows10、Windows11 です。

ターミナルソフトを別途用意してください。本書ではフリーのターミナルソフト Tera Term で説明します。

☞ 「SC22 セットアップガイド」 P.5 「ターミナルソフトで変更する」

6-1 コンソールでログインする

- ① 本製品付属の USB ケーブルで、Windows コンピュータと接続します。



- ② USB シリアル変換ドライバが自動でインストールされます。

※コンピュータ内にドライバが見つからない場合は、オンラインで検索しますので、インターネットに接続できる環境でドライバをインストールしてください。

- ③ ターミナルソフト Tera Term を起動します。

- ④ 「新しい接続」画面で「シリアル」を選択し、本製品のポート「COM*ELMO GMAS (COM*)」または「USB シリアルデバイス(COM*)」を選択します。(*には数字が入ります。)



- ⑤ ターミナル画面が開いたら<Enter>キーを押し、画面の指示に従いユーザ名とパスワードを入力します（大文字/小文字は区別されます）。
(初期値)

```
Please Enter UserName : OMRON
Please Enter Password : *****
```

ユーザ名	OMRON
パスワード	admin

6-2 メインメニュー（Main Menu）

コンソールモードでログインすると、メインメニューが開きます。

メインメニューは主に本製品の制御項目です。項目前の数字を入力し、<Enter>キーを押してください。

```

+-----+
|                   Configuration Utility                   |
|                   [OMRON Network Card SC22 v1.00 ]       |
+-----+
1. Network Card Settings
2. Reset Accounts/Passwords to Default
3. Reset Configuration to Default
4. Restart Network Card
5. Entry Passthru Mode
0. Exit

Please Enter Your Choice =>|

```

No	項 目	概 要
1	Network Card Settings	本製品の詳細設定へ移動します。
2	Reset Accounts /Passwords to Default	管理者名とパスワードを初期値に戻します。 (コンソールモードのみの機能です。) ☞P.36「4-4 管理者設定」
3	Reset Configuration to Default	本製品の設定値を初期値（初期化）に戻します。 パラメータリセット ☞P.34「4-1 カード設定」
4	Restart Network Card	本製品を再起動します。
5	Entry Passthru Mode	UPS に直接制御コマンドを送信できます。 ☞P.19「3-4 コマンド送信」
0	Exit	ログアウト

6-3 ネットワークカード設定 (Network Card Settings)

メインメニューで「1. Network Card Settings」を選択すると、詳細設定に移ります。

各項目の概要は、以下の表をご確認ください。

```

-----+-----
|                               |
|                               | Configuration Utility |
|                               | UPS Model : BN100T 0va  |
|                               |                               |
|-----+-----|
| 1. IP, Time and System Group |
| 2. Network Control Group    |
| 3. Account Control Group    |
| 4. Email Group              |
| 5. SNMP Group               |
| 0. Back to Main Menu        |
|                               |
| Please Enter Your Choice => 1 |
|                               |
+-----+-----

```

No	項 目	概 要
1	IP, Time and System Group	ネットワーク設定（本製品の IP アドレス等）、時間設定、システム名、設置場所等の設定ができます。 ☞P.34 「4-1 カード設定」①、④ ☞P.39 「5-1 有線 LAN」 ☞P.83 「7-6 タイムゾーン番号一覧」
2	Network Control Group	プロトコルの有効/無効設定と、ネットワークポートの設定ができます。 ☞P.44 「5-3 プロトコル設定（詳細設定）」
3	Account Control Group	認証設定の変更が出来ます。 ☞P.35 「4-3 マルチユーザ設定」 ☞P.36 「4-4 管理者設定」、「4-5 RADIUS 設定」
4	Email Group	UPS のイベントを E メール通知する設定ができます。 ☞P.58 「5-11 イベント通知（E メール）」
5	SNMP Group	SNMP v3 USM 設定ができます。 ☞P.46 「5-4 SNMP 設定」②
0	Back to Main Menu	メインメニューに戻ります。

■サブメニュー一覧

サブメニュー-1	サブメニュー-2	サブメニュー-3 (数値等は初期値)
1. IP, Time and System Group	1. Ipv4 Group	1. IP Address : 192.168.2.150
		2. Gateway Address : 192.168.2.1
		3. Network Subnet : 255.255.0.0
		0. Return to previous menu
	2. Ipv6 Group	1. IP v6 Configuration : Disabled
		2. IP v6 Address :
		0. Return to previous menu
	3. Date and Time Group	1. System Date (dd/mm/yyyy) :
		2. System Time (hh:mm:ss) :
		3. NTP Control : Enabled
		4. NTP Server :
		5. NTP Time Zone : 63
		6. Daylight Saving Time Control : Disabled
		0. Return to previous menu
	4. System Contact : Technical Support Team	
	5. System Name : UPS Agent	
6. System Location :		
0. Return to previous menu		
2. Network Control Group	1. BOOTP/DHCP Control : Disabled	
	2. Upgrade Control : Enabled	
	3. Ping Echo Control : Enabled	
	4. UpnP Control : Disabled	
	5. Wireless Control : Disabled	
	6. HTTP Control Group	1. HTTP Control : Enabled
		2. HTTP Port : 80
		3. Force Security HTTP : Disabled
		4. Force Security HTTP Port : 443
		5. Access Security Control : Disabled
		0. Return to previous menu
	7. SNMP Control Group	1. SNMP Control : Enabled
		2. SNMP Port : 161
		0. Return to previous menu
	8. SMTP Control Group	1. SMTP Control : Enabled
		2. SMTP over TLS : Disabled
3. SMTP Port : 25		
0. Return to previous menu		

サブメニュー-1	サブメニュー-2	サブメニュー-3 (数値等は初期値)
	9. SSH Control Group	1. SSH Control : Enabled
		2. SSH Port : 22
		0. Return to previous menu
	A. Telnet Control Group	1. Telnet Control : Enabled
		2. Telnet Port : 23
		0. Return to previous menu
	0. Return to previous menu	
3. Account Control Group	1. RADIUS Group	1. RADIUS Port : 1812
		2. RADIUS Server Settings
		3. Packet Timeout : 1
		4. Packet Retry : 3
		0. Return to previous menu
	2. Access Control Table	
	3. Super User Group	1. User Name : OMRON
		2. User Password : *
		0. Return to previous menu
	0. Return to previous menu	
4. Email Group	1. Mail Server :	
	2. User Account :	
	3. User Password : *	
	4. Sender Email Address :	
	5. Mail Subject Prefix :	
	6. Mail Daily Status Report At(hh:mm) : 00:00	
	0. Return to previous menu	
5. SNMP Group	1. SNMPv3 USM Table	
	0. Return to previous menu	

7 参考資料

7-1 仕様

項目	設定内容
ネットワークポート	1000Base-T/100Base-TX/10Base-T
USB ポート	タイプ A (無線 LAN アダプタ/USB メモリ用) (注意) 本ポートを充電用途に使用しないでください。
	MicroUSB (コンソール設定用)
プロトコル	SNMP、HTTP、HTTPS、SSH、Telnet、ICMP、SMTP、Modbus TCP など
MIB	SWC2 (独自) UPS MIB (RFC1628)
使用環境温度/湿度	-10 ~ 55°C/10 ~ 90%RH (無結露)
保管環境温度/湿度	-20 ~ 55°C/10 ~ 90%RH (無結露)
最大消費電力	3W/USB 使用時 6W
外形寸法 (W×D×H)	60×130×19mm
本体質量	約 65g
ノイズ規制	VCCI クラス B (準拠)

7-2 サンプルスクリプト一覧

【スクリプトシャットダウン】

No	スクリプト名	内 容
1	Windows	rcv=login: snd=\$u1 rcv=password: snd=\$p1 rcv=C:¥ snd=shutdown -s -f
2	Linux	rcv=login: snd=\$u1 rcv>Password snd=\$p1 rcv=]\$ snd=\$u2 rcv>Password: snd=\$p2 rcv=]# snd=init 0

No	スクリプト名	内 容
3	Mac (OSX)	rcv=login: snd=\$u1 rcv=Password: snd=\$p1 rcv=\$ snd=\$u2 rcv=Password: snd=\$p2 rcv=# snd=halt
4	ESXi Host	rcv=login: snd=\$u1 rcv=Password: snd=\$p1 rcv=] snd=halt
5	Netapp ONTAP9.1 / 9.2	rcv=login as: snd=\$u1 rcv=Password: snd=\$p1 rcv=> snd=system node halt -node * -inhibit-takeover true -skip-lif- migration-before-shutdown true rcv={y n}: snd=y rcv={y n}: snd=y
6	Netapp Clustered data ONTAP8.3	rcv=login: snd=\$u1 rcv=Password: snd=\$p1 rcv=:> snd=system node halt * rcv={y n}: snd=y rcv={y n}: snd=y rcv={y n}: snd=y rcv={y n}: snd=y
7	HP MSA2040	rcv=login: snd=\$u1 rcv=Password: snd=\$p1 rcv=# snd=shutdown both rcv=(y/n) snd=y
8	FortiNet	rcv=login: snd=\$u1 rcv=Password: snd=\$p1 rcv=# snd=execute shutdown rcv=Do you want to continue? (y/n) snd=y

No	スクリプト名	内 容
9	Nutanix Cluster Stop	rcv=login: snd=\$ul rcv=Password snd=\$pl rcv=\$ snd=echo I agree cluster stop
10	Nutanix Cluster Start	rcv=login: snd=\$ul rcv=Password snd=\$pl rcv=\$ snd=cluster start
11	Nutanix CVM Shutdown (AOS v5.9 or earlier)	rcv=login: snd=\$ul rcv=Password snd=\$pl rcv=\$ snd=sudo shutdown -h now
12	Nutanix AHV Shutdown	rcv=login: snd=\$ul rcv=Password snd=\$pl rcv=# snd=shutdown -h now
13	ESXi Maintenance Mode ON	rcv=login: snd=\$ul rcv=Password snd=\$pl rcv=] snd=esxcli system maintenanceMode set -e true -m noAction
14	ESXi Maintenance Mode OFF	rcv=login: snd=\$ul rcv=Password snd=\$pl rcv=] snd=esxcli system maintenanceMode set -e false
15	Nutanix AHV CVM Shutdown (AOS V5.10)	rcv=login: snd=\$ul rcv=Password snd=\$pl rcv=# snd=virsh list --all grep CVM virsh shutdown `awk '{print \$2}'`
16	Nutanix ESXi CVM Shutdown (AOS V5.10)	rcv=login: snd=\$ul rcv=Password snd=\$pl rcv=] snd=vim-cmd vmsvc/getallvms grep CVM vim-cmd vmsvc/power.shutdown `awk '{print \$1}'`
17	ESXi VA Start	rcv=login: snd=\$ul rcv=Password snd=\$pl rcv=] snd=VM="VA_Ver2.0.0";vim-cmd vmsvc/getallvms grep "\$VM" vim-cmd vmsvc/power.on `awk '{print \$1}'`

No	スクリプト名	内 容
18	ESXi/Nutanix ESXi vCSA Start	rcv=login: snd=\$ul rcv=Password snd=\$pl rcv=] snd=VM=" vCSA ";vim-cmd vmsvc/getallvms grep "\$VM" vim-cmd vmsvc/power.on `awk ' {print \$1}'`
19	Nutanix AHV VA Start	rcv=login: snd=\$ul rcv=Password: snd=\$pl rcv=\$ snd=acli vm.on " VA_Ver2.0.0 "

注意

- ・スクリプト 17~19 の**太字**の部分（仮想マシン名）はご環境に合わせて変更してください。
- ・スクリプト 17~19 は、VirtuAttendant（型式 PA10V）の設定画面から変更してください。
- ・VirtuAttendant（型式 PA10V）を使用している場合、本製品の設定は、VirtuAttendant の設定画面から変更してください。

【PoE 装置（スイッチ）ポート制御スクリプト】

注意

本製品に組み込まれている PoE ポート制御設定のサンプルスクリプトの内容です。

PoE スwitchの機種やファームバージョンで、スクリプトの内容に変更が必要な場合があります。

当社ホームページまたは、PoE スwitchの CLI コマンドをご確認のうえ、ご利用ください。

メーカー	スクリプト名	内 容
Panasonic	停止	<pre> rcv=UserName: snd=\$u1 rcv=Password: snd=\$p1 rcv=# snd=configure terminal rcv=(config)# snd=interface gil/0/<Port No> rcv=(config-if)# snd=peth shutdown rcv=(config-if)# snd=exit rcv=(config)# snd=exit rcv=# snd=exit </pre>
	停止／起動	<pre> rcv=UserName: snd=\$u1 rcv=Password: snd=\$p1 rcv=# snd=configure terminal rcv=(config)# snd=interface gil/0/<Port No> rcv=(config-if)# snd=peth shutdown rcv=(config-if)# snd=no peth shutdown rcv=(config-if)# snd=exit rcv=(config)# snd=exit rcv=# snd=exit </pre>
	起動	<pre> rcv=UserName: snd=\$u1 rcv=Password: snd=\$p1 rcv=# snd=configure terminal rcv=(config)# snd=interface gil/0/<Port No> rcv=(config-if)# snd=no peth shutdown rcv=(config-if)# snd=exit rcv=(config)# snd=exit rcv=# snd=exit </pre>

メーカー	スクリプト名	内 容
Cisco	停止	<pre> rcv=Username: snd=\$u1 rcv=Password: snd=\$p1 rcv=> snd=enable rcv=Password: snd=[Enable Secret] rcv=# snd=configure terminal rcv=# snd=interface Gi0/<Port No> rcv=# snd=power inline never rcv=# snd=exit rcv=# snd=exit rcv=# snd=exit </pre>
	停止／起動	<pre> rcv=Username: snd=\$u1 rcv=Password: snd=\$p1 rcv=> snd=enable rcv=Password: snd=[Enable Secret] rcv=# snd=configure terminal rcv=# snd=interface Gi0/<Port No> rcv=# snd=power inline never rcv=# snd=power inline auto rcv=# snd=exit rcv=# snd=exit rcv=# snd=exit </pre>
	起動	<pre> rcv=Username: snd=\$u1 rcv=Password: snd=\$p1 rcv=> snd=enable rcv=Password: snd=[Enable Secret] rcv=# snd=configure terminal rcv=# snd=interface Gi0/<Port No> rcv=# snd=power inline auto rcv=# snd=exit rcv=# snd=exit rcv=# snd=exit </pre>

メーカー	スクリプト名	内 容
NETGEAR	停止	<pre> rcv=User: snd=\$u1 rcv>Password: snd=\$p1 rcv=> snd=enable rcv>Password: snd=[Enable Secret] rcv=# snd=config rcv=# snd=interface 0/<Port No> rcv=# snd=no poe rcv=# snd=exit rcv=# snd=exit rcv=# snd=exit rcv=> snd=quit </pre>
	停止／起動	<pre> rcv=User: snd=\$u1 rcv>Password: snd=\$p1 rcv=> snd=enable rcv>Password: snd=[Enable Secret] rcv=# snd=config rcv=# snd=interface 0/<Port No> rcv=# snd=no poe rcv=# snd=poe rcv=# snd=exit rcv=# snd=exit rcv=# snd=exit rcv=> snd=quit </pre>
	起動	<pre> rcv=User: snd=\$u1 rcv>Password: snd=\$p1 rcv=> snd=enable rcv>Password: snd=[Enable Secret] rcv=# snd=config rcv=# snd=interface 0/<Port No> rcv=# snd=poe rcv=# snd=exit rcv=# snd=exit rcv=# snd=exit rcv=> snd=quit </pre>

メーカー	スクリプト名	内 容
Apresia	停止	rcv=UserName: snd=\$ul rcv=PassWord: snd=\$pl rcv=# snd=config poe ports <Port No> state disable rcv=# snd=logout
	停止／起動	rcv=UserName: snd=\$ul rcv=PassWord: snd=\$pl rcv=# snd=config poe ports <Port No> state disable rcv=# snd=config poe ports <Port No> state enable rcv=# snd=logout
	起動	rcv=UserName: snd=\$ul rcv=PassWord: snd=\$pl rcv=# snd=config poe ports <Port No> state enable rcv=# snd=logout

7-3 動作確認済スクリプト

No.	スクリプト名	内 容
1	Netapp ONTAP9.5	<pre>rcv= login: snd=\$u1 rcv=password snd=\$p1 rcv=> snd=system node halt * -f -skip-lif-migration-before-shutdown - ignore-quorum-warnings rcv={y n}: snd=y rcv={y n}: snd=y</pre>
2	Nutanix CVM Shutdown (AOS v5.10 later)	<pre>rcv=login: snd=\$u1 rcv=Password snd=\$p1 rcv=# snd=virsh list --all grep CVM virsh shutdown `awk '{print \$2}'`</pre>

7-4 UPS イベント一覧

No.	情報	Information
1	入力電源回復	Utility power has been restored
2	UPS は、バッテリーローから回復しました	The UPS has returned from a low battery condition
3	UPS 正常	The UPS is working fine
4	UPS は、商用運転中です	The UPS is not on battery power
5	テストは、終了しました	The testing of UPS is completed
6	テスト中です	The testing is going on UPS
7	バイパス運転中です	The UPS has enabled bypass
8	バイパス運転中ではありません	The ups is not on bypass
9	シリアル通信確立	Communication with the UPS has been established
10	出力停止	The UPS has been turned off
11	スリープモードに入りました	The UPS has entered in 'sleep' mode
12	スリープモードから回復しました	The UPS woke up from 'sleep' mode
13	UPS は、再起動します	The UPS is reboot
14	シャットダウンコマンドはキャンセルされました	Shutdown command is cancelled
15	UPS 温度は、設定閾値未満です	The UPS temperature is under setting point
16	UPS 接続容量は、設定閾値未満です	The UPS output load is under setting point
17	出力コンセント A の状態が変わりました	The status of Outlet A is changed
18	出力コンセント B の状態が変わりました	The status of Outlet B is changed
19	出力コンセント C の状態が変わりました	The status of Outlet C is changed
20	出力コンセント A の Ping 判定復旧	The ping judgement is Recover(Outlet A)
21	出力コンセント B の Ping 判定復旧	The ping judgement is Recover(Outlet B)
22	出力コンセント C の Ping 判定復旧	The ping judgement is Recover(Outlet C)
23	出力電圧（上昇）異常復旧	Recovery from Output over voltage
24	直流バス電圧異常復旧	Recovery from DC bus voltage error
25	出力短絡復旧	Recovery from Output short
26	過負荷タイムアウト復旧	Recovery from Over load time out
27	充電電圧異常（上昇）復旧	Recovery from Battery over charge
28	充電電圧異常（低下）復旧	Recovery from Battery under charge
29	温度異常回復	Recovery from Over temperature
30	外部冷却ファン異常復旧	Recovery from External Fan fail
31	トランス異常復旧	Recovery from TX fail
32	CPU 通信異常復旧	Recovery from Internal CPU communication error
33	出力電圧（低下）異常復旧	Recovery from Output under voltage
34	半波負荷異常復旧	Recovery from Single Wave Load
35	バッテリー設定異常復旧	Recovery from Bat-Config. Fail
36	CPU 異常復旧	Recovery from CPU operation failed

No.	情報	Information
37	出力 DC アンバランス異常復旧	Recovery from Output DC unbalance
38	内部冷却ファン異常復旧	Recovery from Internal Fan fail
39	過負荷異常復旧	Recovery from Over Load
40	バッテリー劣化復旧	Recovery from Battery Weak
41	バッテリー放電終止復旧	Recovery from Battery Empty
42	バッテリー温度（上昇）異常復旧	Recovery from Battery temperature high
43	UPS 寿命カウンタ超え復旧	Recovery from UPS life expired
44	インバータ回路電流異常復旧	Recovery from Inverter current circuit fail
45	出力回路電流異常復旧	Recovery from Output current circuit fail
46	基準電圧異常回復	Recovery from Voltage reference fail
47	出力電圧センサ異常復旧	Recovery from Output V sensor fail
48	直流バス電圧センサ異常復旧	Recovery from DC Voltage sensor fail
49	入力周波数異常復旧	Recovery from Input frequency fail
50	同期異常復旧	Recovery from Sync. fail
51	CPU 異常復旧	Recovery from CPU internal fail
52	入力回路電流異常復旧	Recovery from Input current circuit fail
53	バッテリー温度異常（低下）復旧	Recovery from Battery temperature low fail
54	BMS 電流異常（上昇）復旧	Recovery from BMS Over Current fail
55	BMS 異常復旧	Recovery from BMS internal fail
56	充電器異常復旧	Recovery from Charger Fail
57	BMS セル異常（上昇）復旧	Recovery from BMS Cell Over voltage fail
58	BMS セル異常（低下）復旧	Recovery from BMS Cell Under voltage fail
59	バッテリー誤接続復旧	Recovery from Battery Incorrect Connection fail

No.	警 告	Warning
1	入力電源異常	Utility power not available
2	UPS は、バッテリー運転中です	The UPS has switched to battery backup power
3	シャットダウンコマンドを受信しました	The UPS has been given shutdown command
4	UPS 温度は、設定閾値を超えています	The UPS temperature is over setting point
5	UPS 接続容量は、設定値を超えています	The UPS output load is over setting point
6	出力コンセント A に接続されている機器から Ping 応答がありません	Some devices are no response from ping.(Outlet A)
7	出力コンセント B に接続されている機器から Ping 応答がありません	Some devices are no response from ping.(Outlet B)
8	出力コンセント C に接続されている機器から Ping 応答がありません	Some devices are no response from ping.(Outlet C)
9	バッテリー誤接続	Battery Incorrect Connection fail
10	入力電源異常シャットダウン警告	AC fail Shutdown Warning
11	スケジュールシャットダウン（毎週）警告	Schedule Shutdown Warning (Weekly)
12	スケジュールシャットダウン（指定日）警告	Schedule Shutdown Warning (Special Day)
13	バッテリーローシャットダウン警告	Battery Low Shutdown Warning
14	過負荷シャットダウン警告	Overload Shutdown Warning
15	温度上限シャットダウン警告	Over Temperature Shutdown Warning

No.	重 大	Critical
1	バッテリーローです。まもなくバッテリーがなくなります	The UPS batteries are low and will soon be exhausted
2	UPS 異常	The UPS is not working fine
3	シリアル通信エラー	Communication to the UPS has been lost
4	バッテリー劣化	The UPS battery is weak
5	UPS ハードウェア異常	The UPS has hardware problem
6	Ping 判定異常により、出力コンセント B を停止	The ping judgement is fail, The UPS Outlet B is shutdown
7	Ping 判定異常により、出力コンセント B を再起動	The ping judgement is fail, The UPS Outlet B is restart
8	Ping 判定異常により、UPS 停止のため出力コンセント B を停止	The ping judgement is fail, The UPS Outlet B cause ups shutdown
9	Ping 判定異常により、出力コンセント C を停止	The ping judgement is fail, The UPS Outlet C is shutdown
10	Ping 判定異常により、出力コンセント C を再起動	The ping judgement is fail, The UPS Outlet C is restart
11	Ping 判定異常により、UPS 停止のため出力コンセント C を停止	The ping judgement is fail, The UPS Outlet C cause ups shutdown

No.	重 大	Critical
12	スクリプトコマンド送信済	Script Command Sent
13	Ping 判定異常により、UPS を停止	The ping judgement is fail, UPS is shutdown
14	Ping 判定異常により、UPS を再起動	The ping judgement is fail, UPS is restart
15	Ping 判定異常により、出力コンセント A を停止	The ping judgement is fail, UPS Outlet A shutdown
16	Ping 判定異常により、出力コンセント A を再起動	The ping judgement is fail, UPS Outlet A restart
17	出力電圧（上昇）異常	Output over voltage
18	直流バス電圧異常	DC bus voltage error
19	出力短絡	Output short
20	過負荷タイムアウト	Over load time out
21	充電電圧異常（上昇）	Battery over charge
22	充電電圧異常（低下）	Battery under charge
23	温度異常	Over temperature
24	外部冷却ファン異常	External Fan fail
25	トランス異常	TX fail
26	CPU 通信異常	Internal CPU communication error
27	出力電圧（低下）異常	Output under voltage
28	半波負荷異常	Single Wave Load
29	バッテリー設定異常	Bat-Config. Fail
30	CPU 異常	CPU operation failed
31	出力 DC アンバランス異常	Output DC unbalance
32	内部冷却ファン異常	Internal Fan fail
33	過負荷異常	Over Load
34	バッテリー劣化	Battery Weak
35	バッテリー放電終止	Battery Empty
36	バッテリー温度（上昇）異常	Battery temperature high fail
38	UPS 寿命カウンタ超え	UPS life expired
38	インバータ回路電流異常	Inverter current circuit fail
39	出力回路電流異常	Output current circuit fail
40	基準電圧異常	Voltage reference fail
41	出力電圧センサ異常	Output V sensor fail
42	直流バス電圧センサ異常	DC Voltage sensor fail
43	入力周波数異常	Input frequency fail
44	同期異常	Sync. fail
45	CPU 異常	CPU internal fail
46	入力回路電流異常	Input current circuit fail
47	バッテリー温度（低下）異常	Battery temperature low fail
48	BMS 電流異常（上昇）	BMS Over Current fail
49	BMS 異常	BMS internal fail

No.	重 大	Critical
50	充電器異常	Charger Fail
51	BMS セル異常（上昇）	BMS Cell Over voltage fail
52	BMS セル異常（低下）	BMS Cell Under voltage fail
53	UPS 停止実行	UPS Shutdown Start
54	即時シャットダウン実行	Shutdown Immediately Start
55	スケジュールシャットダウン（毎週）実行	Schedule Shutdown Start (Weekly)
56	スケジュールシャットダウン（指定日）実行	Schedule Shutdown Start (Special Day)
57	入力電源異常シャットダウン実行	AC fail Shutdown Start
58	バッテリーローシャットダウン実行	Battery Low Shutdown Start
59	過負荷シャットダウン実行	Overload Shutdown Start
60	温度上限シャットダウン実行	Over Temperature Shutdown Start

7-5 Modbus イベント一覧

ファンクションコードの名称は、使用する機器によって異なる場合があります。

①ファンクションコード：0x02 Read Discrete Inputs

No.	Address	説明（英語）	説明（日本語）	単位／値の意味	備考
1	0x0000	upsAlarmBatteryBad	バッテリー劣化	1：発生	
2	0x0001	upsAlarmOnBattery	バッテリー運転	1：発生	
3	0x0002	upsAlarmLowBattery	バッテリーロー	1：発生	
4	0x0004	upsAlarmTempBad	温度異常	1：発生	
5	0x0005	upsAlarmInputBad	入力電圧異常	1：発生	
6	0x0006	upsAlarmOutputBad	出力電圧異常	1：発生	
7	0x0007	upsAlarmOutputOverload	過負荷異常	1：発生	
8	0x0008	upsAlarmOnBypass	バイパス運転	1：発生	
9	0x000B	upsAlarmUpsOffAsRequested	UPS 停止要求	1：発生	
10	0x000C	upsAlarmChargerFailed	充電電圧異常	1：発生	
11	0x000E	upsAlarmUpsSystemOff	UPS 停止	1：発生	
12	0x000F	upsAlarmFanFailure	ファン異常	1：発生	
14	0x0011	upsAlarmGeneralFault	UPS 異常	1：発生	
15	0x0012	upsAlarmDiagnosticTestFailed	自己診断テスト異常	1：発生	
16	0x0014	upsAlarmAwaitingPower	通信エラー	1：発生	
17	0x0015	upsAlarmShutdownPending	入力電源異常	1：発生	
18	0x0017	upsAlarmTestInProgress	テスト中	1：発生	

②ファンクションコード：0x03 Read Holding Registers

No.	Address	説明（英語）	説明（日本語）	単位／値の意味	備考
1	0x0000	Config Input Voltage	入力電圧定格（実効値）	単位：V	（例）100 →100V
2	0x0001	Config Input Frequency	入力周波数定格	単位：0.1Hz	（例）505 →50.5Hz
3	0x0002	Config Output Voltage	出力電圧定格（実効値）	単位：V	（例）100 →100V
4	0x0003	Config Output Frequency	出力周波数定格	単位：0.1Hz	（例）505 →50.5Hz
5	0x0004	Config Output VA (High Word)	定格出力容量	単位：VA	（例）1000 →1000VA
6	0x0005	Config Output VA (Low Word)			
7	0x0006	Config Output Power (High Word)	定格出力電力	単位：W	（例）900 →900W
8	0x0007	Config Output Power (Low Word)			
9	0x000A	Config Over Temperature Set Point	動作温度上限設定（℃）	単位：℃	（例）45 →45℃ ※本製品の「UPS 設定」で設定変更できます

No.	Address	説明（英語）	説明（日本語）	単位／値の意味	備考
10	0x000B	Config Over Load Set Point	接続容量上限設定 （％）	単位：％	（例）90 →90％ ※本製品の「UPS 設定」で設定変更できます
11	0x000D	Config Audible Status	ブザー機能	1：無効 2：有効	※本製品の「UPS 設定」で設定変更できます
12	0x0017	Auto Restart Action	入力電源復電時の UPS 再起動	1：しない 2：する	※本製品の「シャットダウン設定」で設定変更できます
13	0x0018	Ups Sleep Time Setting	UPS 再起動遅延 時間	単位：分	（例）1 →1分 ※本製品の「UPS 制御」で設定変更できます

③ファンクションコード：0x04 Read Input Registers

No.	Address	説明（英語）	説明（日本語）	単位／値の意味	備考
1	0x0000	Battery Status	バッテリー状態	1：不明 2：正常 3：バッテリーロー 4：バッテリー劣化 5：放電中 6：未接続	
2	0x0001	Seconds On Battery (High Word)	バッテリー運転経過 時間	単位：秒	（例）600 →600 秒 バッテリー運転でない場合は0
3	0x0002	Seconds On Battery (Low Word)			
4	0x0003	Estimated Minutes Remaining	推定バックアップ 時間	単位：分	（例）200 →200 分 バッテリー残量が0になるまでの推定値
5	0x0004	Estimated Charge Remaining	バッテリー容量	単位：％	（例）100 →100％ 満充電時：100％ 満充電に対するバッテリー残量（％）の目安
6	0x0005	Battery Voltage	バッテリー電圧	単位：0.1V	（例）544 →54.4V
7	0x0007	Battery Temperature	バッテリー温度	単位：0.1℃	（例）284 →28.4℃
8	0x0010	Input Line Bads	入力電源異常回数	単位：回	
9	0x0011	Input Number Lines	入力ライン相数	単位：ライン数	UPS への入力ライン（系統）数
10	0x0012	Input Frequency phase 1	入力周波数	単位：0.1Hz	（例）505 →50.5Hz
11	0x0015	Input Voltage phase 1	入力電圧	単位：0.1V	（例）1105 →110.5V
12	0x0030	Output Source	入力状態	1：商用電源 2：バイパス 3：バッテリー 4：出力なし	

No.	Address	説明（英語）	説明（日本語）	単位／値の意味	備考
13	0x0031	Output Number Lines	出力ライン相数	単位：ライン数	UPS からの出力ライン（系統）数
14	0x0032	Output Frequency phase 1	出力周波数	単位：0.1Hz	(例) 505 →50.5Hz
15	0x0035	Output Voltage phase 1	出力電圧	単位：0.1V	(例) 1105 →110.5V
16	0x0041	Output Percent Load phase 1	出力負荷	単位：%	(例) 90 →90% 接続容量の最大規格に対しての割合
17	0x0071	Battery Test Result	バッテリーテスト結果	1：正常 3：エラーあり 5：テスト中	
18	0x0072	Battery Test Start Time (High Word)	バッテリーテスト開始時間	単位：秒	(例) 86400 →86400 秒 UPS 起動時からの秒数 UPS 起動後、バッテリーテストを開始するまでの相対時間
19	0x0073	Battery Test Start Time (Low Word)			
20	0x0074	Battery Test Elapsed Time (High Word)	バッテリーテスト経過時間	単位：10 ミリ秒	(例) 2300 →23 秒 バッテリーテストにかかった時間
21	0x0075	Battery Test Elapsed Time (Low Word)			
22	0x0090	UPS Status	UPS 状態	1：商用運転中 2：電源オフ 3：スタンバイ 4：バイパス運転中 5：バックアップ運転中 6：テスト中 7：UPS 異常 8：バッテリー劣化	
23	0x0091	UPS Type	UPS タイプ	1：常時インバータ 2：常時商用 3：ラインインタラクティブ	

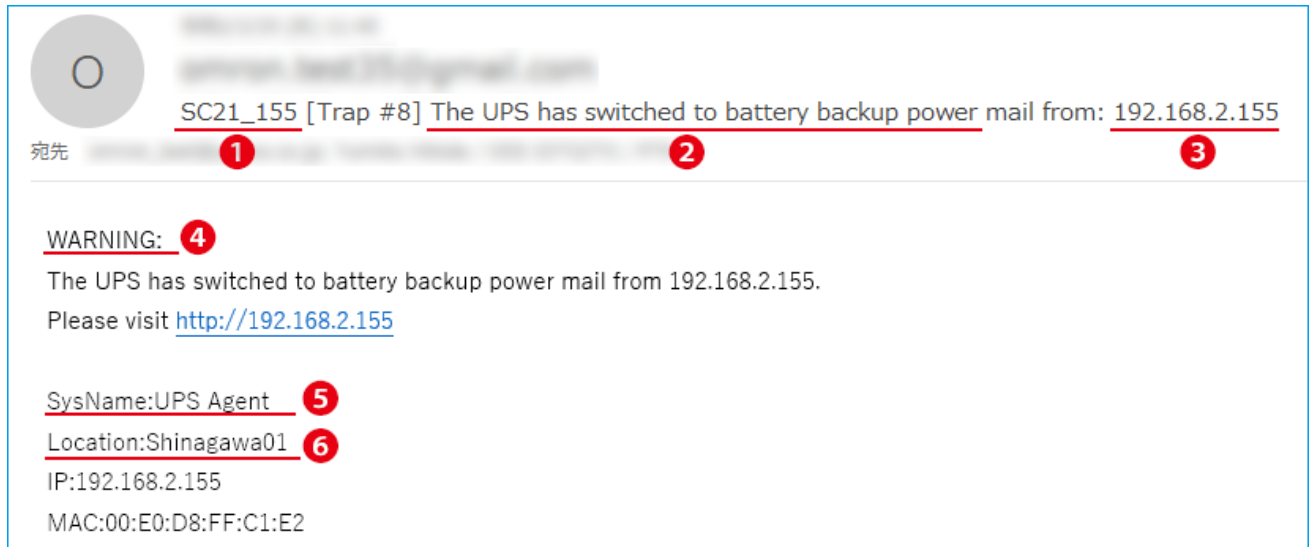
7-6 タイムゾーン番号一覧

No.	時 差	地 名 (地域名)	
0	GMT -12:00	International DateLineWest	日付変更線 (西側)
1	GMT -12:00	Eniwetok/Kwajalein	エニウェトック、クェゼリン環礁
2	GMT -11:00	Midway Island/Samoa	ミッドウェイ島、サモア
3	GMT -10:00	Hawaii	ハワイ
4	GMT -09:00	Alaska	アラスカ
5	GMT -08:00	Pacific Time (US & Canada); Tijuana	太平洋標準時 (米国およびカナダ)、ティファナ
6	GMT -07:00	Arizona/Mountain Time	アリゾナ、山地標準時
7	GMT -07:00	Chihuahua/ La Paz/ Mazatlan	チワワ、ラパス、マサトラン
8	GMT -07:00	Mountain Time (US & Canada)	山地標準時 (米国およびカナダ)
9	GMT -06:00	Central America	中部アメリカ
10	GMT -06:00	Central Time (US & Canada)	中部標準時 (米国およびカナダ)
11	GMT -06:00	Guadalajara/Mexico City/ Monterrey	グアダラハラ、メキシコシティ、モンテレー
12	GMT -06:00	Saskatchewan	サスカチュワン
13	GMT -05:00	Bogota/ Lima/ Quito	ボゴタ、リマ、キト
14	GMT -05:00	Eastern Time (US & Canada)	東部標準時 (米国およびカナダ)
15	GMT -05:00	Indiana (East)	インディアナ (東部)
16	GMT -04:00	Atlantic Time (Canada)	大西洋標準時 (カナダ)
17	GMT -04:00	Caracas/ La Paz	カラカス、ラパス
18	GMT -04:00	Santiago	サンティアゴ
19	GMT -03:30	Newfoundland	ニューファンドランド
20	GMT -03:00	Brasilia	ブラジリア
21	GMT -03:00	Buenos Aires/ Georgetown	ブエノスアイレス、ジョージタウン
22	GMT -03:00	Greenland	グリーンランド
23	GMT -02:00	Mid-Atlantic	中部大西洋岸
24	GMT -01:00	Azores	アゾレス諸島
25	GMT -01:00	Cape Verde Is.	カーボベルデ諸島
26	GMT -00:00	Casablanca/ Monrovia	カサブランカ、モンロビア
27	GMT -00:00	Greenwich Mean Time / Dublin / Edinburgh/ Lisbon/ London	グリニッジ標準時;ダブリン、エジンバラ、 リスボン、ロンドン
28	GMT +01:00	Amsterdam/ Berlin/ Bern/ Rome / Stockholm/ Vienna	アムステルダム、ベルリン、ベルン、ローマ、 ストックホルム、ウィーン
29	GMT +01:00	Belgrade/ Bratislava/Budapest / Ljubljana/ Prague	ベオグラード、ブラチスラバ、ブダペスト、 リュブリャナ、プラハ
30	GMT +01:00	Brussels/ Copenhagen/ Madrid/ Paris	ブリュッセル、コペンハーゲン、マドリード、パ
31	GMT +01:00	Sarajevo/ Skopje/ Warsaw/ Zagreb	サラエボ、スコピエ、ワルシャワ、ザグレブ
32	GMT +01:00	West Central Africa	西中央アフリカ
33	GMT +02:00	Athens/ Istanbul/ Minsk	アテネ、イスタンブール、ミンスク
34	GMT +02:00	Bucharest	ブカレスト
35	GMT +02:00	Cairo	カイロ
36	GMT +02:00	Harare/ Pretoria	ハラレ、プレトリア

No.	時差	地名 (地域名)	
37	GMT +02:00	Helsinki/ Kyiv/ Riga/ Sofia / Tallinn/ Vilnius	ヘルシンキ、キエフ、リガ、ソフィア、タリン、ビリニュス
38	GMT +02:00	Jerusalem	エルサレム
39	GMT +03:00	Baghdad	バグダッド
40	GMT +03:00	Kuwait/ Riyadh	クウェート、リヤド
41	GMT +03:00	Moscow/ St. Petersburg/ Volgograd	モスクワ、サンクトペテルブルク、ボルゴグラ
42	GMT +03:00	Nairobi	ナイロビ
43	GMT +03:30	Tehran	テヘラン
44	GMT +04:00	Abu Dhabi/ Muscat	アブダビ、マスカット
45	GMT +04:00	Baku/ Tbilisi/ Yerevan	バク、トビリシ、エレバン
46	GMT +04:30	Kabul	カブール
47	GMT +05:00	Ekaterinburg	エカテリンブルク
48	GMT +05:00	Islamabad/ Karachi/ Tashkent	イスラマバード、カラチ、タシケント
49	GMT +05:30	Bombay/ Calcutta	ボンベイ、カルカッタ
50	GMT +05:30	Chennai/ Kolkata/ Mumbai/ New	チェンナイ、コルカタ、ムンバイ、ニューデリー
51	GMT +05:45	Kathmandu	カトマンズ
52	GMT +06:00	Almaty/ Novosibirsk	アルマトイ、ノヴォシビルスク
53	GMT +06:00	Astana/ Dhaka	アスタナ、ダッカ
54	GMT +06:00	Sri Jayawardenepura	スリジャヤワルダナプラコッテ
55	GMT +06:30	Rangoon	ヤンゴン (ラングーン)
56	GMT +07:00	Bangkok/ Hanoi/ Jakarta	バンコク、ハノイ、ジャカルタ
57	GMT +07:00	Krasnoyarsk	クラスノヤルスク
58	GMT +08:00	Beijing/ Chongqing/ Hong Kong	北京、重慶、香港、ウルムチ
59	GMT +08:00	Irkutsk/ Ulaan Bataar	イルクーツク、ウランバートル
60	GMT +08:00	Kuala Lumpur/ Singapore	クアラルンプール、シンガポール
61	GMT +08:00	Perth	パース
62	GMT +08:00	Taipei	台北
63	GMT +09:00	Osaka/ Sapporo/ Tokyo	大阪、札幌、東京
64	GMT +09:00	Seoul	ソウル
65	GMT +09:00	Yakutsk	ヤクーツク
66	GMT +09:30	Adelaide	アデレード
67	GMT +09:30	Darwin	ダーウィン
68	GMT +10:00	Brisbane	ブリスベン
69	GMT +10:00	Canberra/ Melbourne/ Sydney	キャンベラ、メルボルン、シドニー
70	GMT +10:00	Guam/ Port Moresby	グアム、ポートモレスビー
71	GMT +10:00	Hobart	ホバート
72	GMT +10:00	Vladivostok	ウラジオストク
73	GMT +11:00	Magadan/ Solomon Is./ New	マガダン、ソロモン諸島、ニューカレドニア
74	GMT +12:00	Auckland/ Wellington	オークランド、ウェリントン
75	GMT +12:00	Fiji/ Kamchatka/ Marshall Is.	フィジー、カムチャツカ、マーシャル諸島
76	GMT +13:00	Nuku' alofa	ヌクアロファ

7-7 通知メールのサンプル

イベント通知メールの構成について解説します。



■メールの件名

メールの件名は「E メール設定の件名」+「UPS イベント」+「本製品の IP アドレス」で構成され、本文を開かずに内容が判るようになっています。

- 1 【イベント通知】→【E メール/SNMP Trap 設定】→【E メール】タブの「件名」で任意に設定します。半角英数 31 文字以下で設定してください。



- 2 発生した UPS イベント
英文表記です。日文は本製品の「UPS イベントログ」を直接確認するか、「7-4 UPS イベント一覧」をご確認ください。
- 3 本製品（送信元）の IP アドレス

■本 文

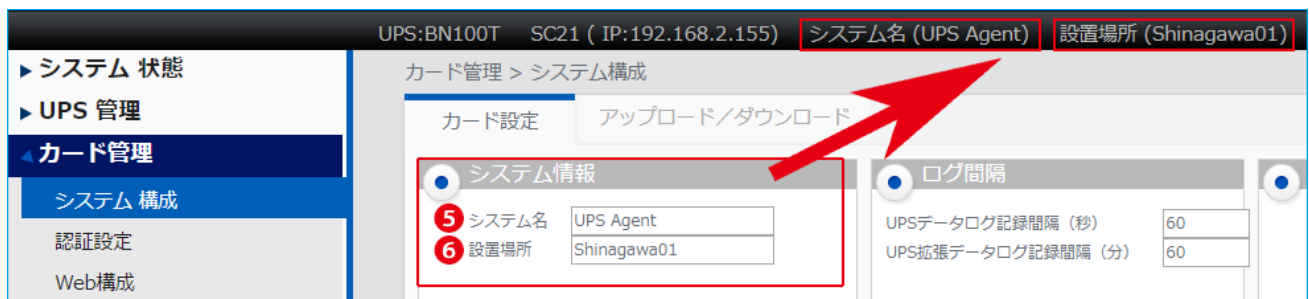
本文には UPS イベント、本製品の IP アドレス以外に、イベントレベルと UPS 識別用の情報 (任意に設定) を記載します。

④ イベントレベル

Information	情 報
Warning	警 告
Critical	重 大

⑤ SysName (System Name)

【カード管理】 → 【システム構成】 → 【カード設定】 タブの「システム名」で任意に設定します。
半角英数 20 文字以下で設定してください。



⑥ Location

【カード管理】 → 【システム構成】 → 【カード設定】 タブの「設置場所」で任意に設定します。
半角英数 20 文字以下で設定してください。

オムロンソーシアルソリューションズ株式会社

© OMRON SOCIAL SOLUTIONS Co., Ltd.
2023 K1M-D-23013C